

法政大学学術機関リポジトリ
HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

沖永良部島方言語彙のアクセント資料(7)

著者	上野 善道
出版者	法政大学沖縄文化研究所
雑誌名	琉球の方言
巻	32
ページ	1-40
発行年	2008-03-31
URL	http://hdl.handle.net/10114/11865

沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (7)

上 野 善 道

UWANO, Zendo

鹿児島県沖永良部島和泊（わどまり）町の和泊方言を対象とした

(1) 甲 東哲（きのえ とうてつ）編『島のことば 沖永良部島』、三笠出版、1987

に基づきながら、その各項目（アクセントの記載なし）を和泊町皆川（みながわ）方言の話者である

(2) 皆村 英治（みなむら えいじ）、昭（あき） 御夫妻

に聞いたアクセント資料を6つの報告書として発表してきた（本誌前稿2007を参照）。

本稿は、それを受けて、その全体を音調型別に再編成した2回目として、3音節語を対象とする。提示形式その他は前稿と同じ(3)である。

(3) 音調型付き語形、音節単位の音調型、方言集のカタカナ見出し、意味（注記）

音調型付き語形も、これまでの分の入力ミス・記録ミスなどを正した箇所があるが、逐一断ることは省略する。これまでの拙稿と食い違っている場合は、本稿の形が新しく認定したものと考えてよい。また、意味の説明も大幅に簡略化し、前回からは単語集の形に近付けている。必要に応じて、一連の拙稿ないし元の方言集を参照願いたい。

記号などはこれまでと変更がないが、(4)に音調型の表記のみを掲げる。なお、語頭の重音節#[○]-とある部分は、発話によっては、その音節の途中から下降が始まる#[○]]-で現れることがある。

- | | | | |
|--------|-----------------|-----|-----------|
| (4) [○ | 音節間の上昇 | ○] | 音節間の下降 |
| [[○ | 音節内の上昇 | ○]] | 音節内の下降 |
| ○][○ | 音節間の下降後上昇（音調の谷） | = | 続く音節も同じ高さ |
| ○[| 助詞が続くとそこで上昇 | % | 中程度の上昇 |
| ○ | 重音節 | o | 軽音節 |

本稿で取り上げる3音節語の音調型一覧は(5)の通りである。(≡)や(□)は、それがあってもなくても同じ型と認定されることを意味する。また、前稿で[ja]ma[:](山)、すなわち[ja]ma[:]～[ja]ma[nu]を[o][□]ではなく[o][o]としたのと同様に、本稿でも[ʼabu]ra[:](油)の語末長母音は助詞が付くと短くなることから[oo][o]とした(この場合、助詞付き形は[ʼabu]ra[nu]となって、「童」[wa]ra[bi]～[wara]bi[nu]などの[o]o[o]とした型と、単独形では区別されるのに、助詞付き形は同型になる。[○]o[○](□)と[○]o[□]も同様)。一方、[ʼiku]ke[:](何回)[oo][□]のように、助詞が付いても母音が短くならない場合は重音節と扱った。一部、[dika]sji[:](いいなあ。羨しいなあ)など、助詞付き形が得られにくくて未調査のままとなっている項目がある。それらは[oo][□]?とした。

なお、(5)のうち、[o]o[○]、[○o○]、[○]o[○]の3つは形容詞が取る型である。

(5) 3音節語の音調型一覧

o[oo](≡)	o[o○](≡)	o[○o](≡)	o[○○](≡)	[○oo](≡)	[○o○](≡)	[○○o](≡)	[○○○](≡)
o[o]o	o[o]○	o[○]o		[○]oo	[○]o○	[○]○o	
[o]o[o]		[o]○[o]	[o○]][[○]	[○]o[o]	[○]o[○](□)	[○]○[o]	[○]○[[○]
[oo][[o]	[oo][[○]	[o○]][o]			[○]o[[○]		
	[o]o[○]]				[○o○]]		
					[○]o[○]]		

[引用文献]

上野善道 (2007) 「沖永良部島方言語彙のアクセント資料 (6)」『琉球の方言』31:1-38

[付記] お世話になった皆村英治・昭御夫妻に御礼を申し上げる。この調査報告は、科学研究費基盤研究 (B) 「琉球諸方言要地アクセントの緊急調査研究」 (課題番号 18320064) によって行なったものである。

方言アクセント資料

◎ 3 音節語

'a[gari o[oo アガリ 東。

'a[kubi o[oo アクビ あくび。ユタ（巫者）が祈祷中しきりにあくびをしだす。これは
霊が乗り移った証拠であるとされる。

'a[sjibi o[oo アシビ 遊び。歌舞遊興。（古）「あそび」。

'a[bune o[oo アブネ 危いところだったの意。あやうく。

'a[mami o[oo アマミ かつては「昔はアマミの世から」という言葉があったという。【奄
美大島をさす。ただし ['o:]sjima [○]o[o が普。】

<m>'i[sake o[oo イサケ いさかい。けんか口論。

'i[cjicji o[oo イチチ 行き来。往復。交際。

'i[cjaka o[oo イチャカ どうか。

'i[cjaha o[oo イチャハ どうこう。

'u[buku o[oo ウブク〔御仏供〕祖先の霊前に供える御飯。

ka[wata o[oo カワタ どうも。常とは違うという意を表わす【どうやら】。「カワタ雨に
なりそうだ」。

ga[niKwa o[oo ガニクワ 人を祝福する際に用いる語。「ガニクワ子供さんは大学に合格
したそうで【良かったね】」。

kja[kuro o[oo キャクロ 梁で鴨居を兼ねたもの。

ku[gani o[oo クガニ 黄金。（古）「くがね」。

ku[cjike o[oo クチ/ケ〔口欠け〕舌が回らぬこと。またはその人。【赤ん坊にも大人に
も言う。】

ku[cji(j)e o[oo クチエ 口答え。

ku[ducji o[oo クドゥチ「口説」の字をあてる。沖縄の叙事的民謡。

gu[tusji o[oo グトゥシ ～ように。「冬のグトゥシ寒い」。

sa[kucji o[oo(m) サクチ（魚）ぼらの成魚。

sa[cjita o[oo サチタ 先刻。先日。

sa[tucju o[oo サトゥ/チュ 里人。【和泊から見て】いなかの人。

sa[bure o[oo サブレ 食い残し。

<o>sjj[tamu o[oo シタム 腰巻。（古）「したも」。

sjj[dara o[oo シダラ（植）やぶにつけい。

sjj[cjini o[oo シチニ 敷物。むしろやござ。寝床。牛馬に敷かせるもの。

sji[bana o[oo(f) シバナ 陸から海に突き出た岩礁の突端【崎】。ここには水死者の霊であるシバナ神が宿るという。

sji[baja o[oo シバヤ 芝居。

sji[biri o[oo シビリ からだの小さい者。

sji[mota o[oo シモタ・シモタン しまった【失敗】。

su[micji o[oo スミチ〔染地〕飛白の一種。

su[rabe o[oo スラベー〔空弁〕真実味のない巧言。

ta[tami o[oo タタミ 畳。かつては素人造りが普通で【むしろ、それしかなく】表面が盛りあがり座り心地は柔らかいが長持ちしなかった。

Ta[cjiki o[oo タチキ 二か月。

ta[micji o[oo タミチ 溜池。水源に恵まれないこの島には五十余の溜池がある。

cji[kida o[oo チキダ〔漬け田〕年中水をたたえている田。水を入れた田。

cji[zjumi o[oo チジュミ〔縮み〕ゴム紐。

cji[bara o[oo チバラ 着物【普段着】。

cji[magu o[oo チマグ ひづめ【特に牛の】。

ti[rame(:) o[oo, o[o○ ティラメ〔寺参り〕神社参拝。かつては親が亡くなって三年間は神社参拝や月待ちはしなかったという。

tu[bira o[oo トゥビラ (植) とべら。山羊の好物。

tu[bura o[oo トゥブラ とぐら。鶏の夜の止まり木。かつては鶏は放し飼いだだったので、夕方になると屋敷内の木の枝に鶏が寝ている姿が見られた。

tu[bure o[oo トゥブレ 弔らい。葬式。葬式への参列。

na[cjisa o[oo ナチサ 泣き虫。

<m>na[rasji o[oo ナラシ 蓋付きの吸い物碗。

nu[sari o[oo ヌサリ 運命。「それが彼女のヌサリだったろう」。

ha[gama o[oo ハガマ 羽釜。つばの付いた飯炊き用の釜。

ha[zjigi o[oo ハジギ (植) おおはまぼう。防風林となる。葉【の裏】は蚕のまゆの口出しに使う。【撫でると、くっついてくる。】

ha[cjigi o[oo ハチギ (植) はぜの木。

ha[busji o[oo ハブシ 蒔き餌。

ha[madu・o[oo ハマドゥ かまど。

hji[guru o[oo ヒグル 煤・鍋墨等。

hji[zjaho(:) o[oo, o[o○ ヒジャホー 昔の行政区画で現知名町の東部。

hji[cjizjo o[oo ヒチ/ジョ〔引き戸〕母屋の西側の戸口で玄関となる。

hji[busji o[oo ヒブシ 煙。

bi[duru o[oo ビドウル ビードロ。x ガラス。o ガラス瓶のかけら。

Fu[kugi o[oo フクギ (植) 福木。o 防風・防火のため屋敷の周囲に植えられる。o 葉は堅いので茶請けとしての漬物等を載せる小皿代用になる。

Fu[cjige o[oo フチゲ 葺き替え。

Fu[micji o[oo フミチ 炎天。

ma[giri o[oo(m) マギリ 間切の字をあてる。藩政時代の奄美諸島の行政区画。永良部は三間切。安政四年に和泊方・東方【知名はここに属した】・西方の三方に改称した。

ma[ruji o[oo マルチ 稲苗を数える単位【束】。一〇チカで一マルチ。二マルチは一人の運搬量。

mi[sjizji o[oo ミ / シジ 三筋。物の少[な]いことのたとえ。「ミシジっきりもらっても何の役にも立たない」。

mu[tagi o[oo ムタギ (植) ぼるとのき。

mu[rusji o[oo ムルシ かたまり。o 密集。「家がムルシになっている」。【土には言わず。】

ja[gura o[oo ヤグラ やぐら。夏によく子供達を作った。

ja[nabu o[oo ヤナ / ブ そてつの実。澱粉を採って食用にする。毒性があるので処理を誤ると中毒する。そてつの実一個は牛一頭を殺す力があるという。

ju[gwaFu o[oo ユグワフ〔世界報年〕豊年。クカルが夜中渡る年、稲の葉に白い筋ができる年は豊年だという。

ju[jami o[oo ユ / ヤミ〔夜闇〕闇夜。

'i[sjizji= o[oo= イシジ いしずえ。礎石。

'i[cjasji= o[oo= イチャシ どうして。

'i[riku= o[oo= イリク 戸外での行事に家族の御馳走を入れて携える箱。大中小の三箱で一組になっている。

ma[mami= o[oo= マ / マミ (植)〔真豆〕小豆。

'a[gu]sji o[o]o アグ / シ 一緒に。

'a[ku]mi o[o]o アクミ そてつの実を包む部分に付着している土色で綿状のもの。

ga[nja] (nu) o[o] (o) ガニャ (ヌ) そんな。「ガニャヌ ga[nja]nu o[o]o 話はまだ聞いていない」。

sa[gu]ja o[o]o サグヤ 夜這い。男女合意の場合を ju[bai o[○ ユバイ、そうでない場合をサグヤといった。

sji[ki]cja o[o]o シキチャ〔敷き板〕地機を織るときに座るための板。

Cju[Ki]ne o[o]o チュ / キネ 一家族。

tu[zji]nja o[o]o トウジニヤ（植）まるばつゆくさ。

to[ri]ko o[o]o トリコ 取り子。相対して陣を構え、相手方の人数を一人でも多く自陣に引き込んだ方を勝ちとする遊び。

na[Ta]ta o[o]o ナタ / タ あなた方【目上】。

ha[zji]ra o[o]o ハジラ かずら。藪のつる。

ha[bu]ra o[o]o ハブラ o 子供の遊びで降参の意でいう言葉。o かくれんぼうで相手が発見できぬとき、謎々で答が出せないときなどに言う。

ma[sji]cja o[o]o マシチャ 岩からしたたり落ちる滴。

ma[cji]gi o[o]o マチギ 松。屋敷内に植えてはいけないといわれる。

ja[bu]su o[o]o ヤブス でべそ。

['a]ga[he [o]o[o]o アガへ あれだけの大きさ・高さ・長さ。

['a]ga[sa [o]o[o]o アガサ あれだけ。あれほど。「おまえにアガサできるか」。

['a]ga[nja [o]o[o]o アガニヤ あんな。

['a]ku[se [o]o[o]o アクセ 倦怠。退屈。「そんなに早くアクセしてはいけない」。

['a]gu[ne [o]o[o]o アグネー 楽な座り方。あぐら。

['a]gu[ri [o]o[o]o アグリ 末の女の子。女の子の誕生が続いて、次はぜひ男の子が欲しいというとき、末の女の子をアグリと呼ぶ風習は明治末頃から行われた。

['a]sa[ti [o]o[o]o アサティ あさって。

['a]sji[bu [o]o[o]o アシブ あせも。

['a]zji[gwa [o]o[o]o アジグワ 祖父母の妹。

['a]zji[mu [o]o[o]o アジム 杵。きね。

['a]ta[ra [o]o[o]o アタラ 惜しむべきこと。（古）「あたら」。

['a]da[ni [o]o[o]o アダニ（植）あだん。防潮、防砂の役をなす。芯葉は水中で光るので、幾つも縄に付けて海中に入れ、魚をおどして追い込むのに用いる。

['a]cji[ku [o]o[o]o アチク かけっこ。

['a]ba[sji [o]o[o]o アバシ（魚）はりせんぼん。

['a]ma[ku [o]o[o]o アマク しばらく。

['a]ma[mu [o]o[o]o アマム やどかり。やどかりを象徴した入墨の模様。足のくるぶし。

['a]ri[ta [o]o[o]o アリ / タ あれら。あの人達。

['a]wa[ri [o]o[o]o アワリ 哀れ。貧苦。

['i]sja[sju [o]o[o]o イシャシュ 医者。「シュ」は敬称であるが殆ど一語のように熟している。

['i]sja[tu [o]o[o]o イシャトゥ かまきり。

['i]ta[ba [o]o[o イタバ 板前。料理人。
 ['i]cji[mu [o]o[o イチム いつも。ふだんに。
 ['i]cja[sa [o]o[o イチャサ どのくらい。いくら。
 ['i]cja[te [o]o[o イチャテ どのくらいの価格。
 ['i]cja[nja [o]o[o イチャニャ どう。
 ['i]cju[bi [o]o[o イチュビ (植) いちご。(古)「いちびこ」。
 ['i]tu[ki [o]o[o イットウキ・イトウキ 一時。しばらく。
 ['i]na[he [o]o[o イナへ そんなに早く。「イナへ済んだか」。
 ['i]nja[ra [o]o[o イニャラ 稲の茎。
 [ta]na[ga [o]o[o イビタナガ ('ibi- は付けない方が普) 川えび。
 ['i]bi[ra [o]o[o イビラ 大鍋に用いる大型のしゃもじ。
 ['i]ri[ku [o]o[o イリク 米の煎り粉に砂糖を加え、水で伸ばして作った菓子。
 ['u]gwa[nu [o]o[o ウグワヌ 〔御願〕 祈願のこと。
 ['u]sja[zja [o]o[o ウシャジャ なまこの一種。
 ['u]zju[ru [o]o[o ウジュル 野菜類。
 ['u]ta[sja [o]o[o ウタシャ 歌のうまい人。
 ['u]da[nu [o]o[o ウダヌ お頼み。お願い。「ウダヌします」。
 ['u]cji[ge [o]o[o ウチゲ / トウユン 〔打ちがえりとる〕 (ただし *tujuN* は使わないらしい)
 赤ん坊が仰向けの姿勢から自力で這う姿勢になること。成長の一つの目印とされる。
 ['u]tu[ge [o]o[o ウトゥゲ 下あご。(古)「おとがひ」。
 ['u]tu[zja [o]o[o ウトゥジャ 兄弟姉妹。
 ['u]du[ru [o]o[o ウドウル どれ。「ウドウルを選ぶか」。
 ['u]mi[cji [o]o[o ウミチ 御神酒。
 ['u]mu[ke [o]o[o ウム / ケ 諸粥。諸だけのあるいはそれに粟・米などを混ぜた粥。
 ['u]ja[ho [o]o[o ウヤホ 祖先。高齢の人にもこういう。
 [ga]zja[mu [o]o[o ガジャム 蚊。
 [ga]he[be [o]o[o ガヘベ そのくらいの大きさ。
 [ga]ma[ku [o]o[o ガマク 【女性の】腰。
 [ga]ra[sji [o]o[o ガラシ からす。o 食えない植物・果実・貝などにガラシの名を冠する。
 [gi]sja[sji [o]o[o ギシャシ しらみの卵。
 [ku]ru[gi [o]o[o(m) クールギ (植) 和名不詳。つる性。根を煎じて赤茶色の染め汁を
 得た。しかし、これで染めると黒ずんで色がさめやすかったので紅花を利用するよう
 になった。
 [ku]sa[cji [o]o[o クサチ 松葉等をかき集めるための道具。一五センチ程度の板に二寸

釘五本を打ち、それに柄を付けたレーキ状のもの【熊手】。

[ku]sa[bi [o]o[o クサビ (魚) べら。

[ku]sja[ba [o]o[o クシャバ 田虫。おおばこの根をおろして酢に浸したものを付けて治療する。

[ku]da[gu [o]o[o クダグ [管具] 糸車に付けて糸を巻く長さ一五センチ程度の竹管。

[ku]ja[mi [o]o[o クヤミ 悔み【原文は「悔む」だが誤植のはず】。服喪。

[ku]ri[bu [o]o[o クリブ (植) [九年母] みかんの総称。

[ku]ru[bo [o]o[o(m) クル / ボー (植) くろき等をさす。樹皮が黒い。こま作りの材料になる。枝を神事の際、さかきの代用とする。

[ku]re[gu [o]o[o クレグ 食いしん坊。

[gu]sja[ni [o]o[o グシャニ 杖。

[gu]su[ku [o]o[o グスク「城」の字をあてる。沖永良部はもちろん、奄美・沖縄の各島にこの地名がある。

[gu]da[ni [o]o[o グダニ 糸を紡ぐ際に出る屑糸を丸く巻いたもの。

[gu]bu[ri [o]o[o グブリ [御無礼]。【原文のママ】

[sa]gi[zju, [o]o[o, [sagi]zju[[oo]o[(OK) サギジュ [下げ重] 酒や御馳走を入れて持ち歩くことができるようにした重箱。嫁もらいに行くときなど携える。

[sa]gi[z(j)e [o]o[o サギゼ 柄を付けて吊り下げられるようにした蓋付きの竹かご。種子物を保管する。御飯などを入れて風通しのよい所に下げる。

[sa]ta[ja [o]o[o サタ / ヤ 砂糖小屋。

[sa]na[zji [o]o[o サナジ ふんどし。

[sji]gi[ra [o]o[o シギラ おませ。ちゃっかり者。

[sji]ta[ne [o]o[o シタネ 残念な。惜しい。困った。「シタネことをしてしまった」

[sji]ba[se [o]o[o シバセ うさぎ口。三つ口。

[sji]mu[tu [o]o[o シムトゥ (植) せんもと。わけぎ。

[sja]ku[sji [o]o[o シャクシ しゃくし。かつては二枚貝の殻を用いた。

[su]ru[sji [o]o[o シルシ [すり臼] 粳を玄米にするための木臼で上部の女臼と下部の男臼からなる。

[zji]ma[mi [o]o[o ジマミ (植) 地豆。落花生。煎ったり、塩ゆでしたりして食べる。お盆の頃になくってはならぬ食べ物。これで豆腐もつくる。

[su]ku[bu [o]o[o スクブ 粳穀。【mu[nisukubu とも。muni は粳。】

[su]di[na [o]o[o スディ / ナ [袖無] たもとが無い外出着。

[su]tu[cji [o]o[o ストゥチ (植) そてつ。山野に自生するほか、畑の境界に植えられる。

[su]mi[cja [o]o[o スミチャ (魚) スミチ模様のある魚。はた。【美味。】

- [su]ra[bu [o]o[o スラブ 手指の先が腫れて膿む病気。
- [ta]ge[ni [o]o[o タゲニ 互いに。
- [ta]na[ga [o]o[o タナガ てながえび。
- [ta]ma[sji [o]o[o タマシ 魂。知恵。【知恵の意が普。[tama]sji[nu_['a]N/na[N 知恵がある / ない。】
- [cji]ki[de [o]o[o チキデ [付竹] マッチ mac[cji。木を削って硫黄を付けたものが明治十年頃移入され、これをチキデと称した。
- [cji]zju[ja [o]o[o チジュヤ ちぢれ髪。
- [cji]zju[ja [o]o[o チジュヤ 干鳥・浜千鳥。
- [cji]cji[sju [o]o[o チチシュ 花嫁に付き添って行く未婚の女性。
- [cji]bi[cja [o]o[o チビチャ 芭蕉の繊維で織った身丈の短い男物の作業着。
- [cji]bu[tu [o]o[o チブットゥ 全く。全然。
- [cji]bu[ru [o]o[o チブル 頭【人のも】。
- [cja]ba[nu [o]o[o チャバヌ [茶碗] 飯茶碗。明治の頃までは沖縄式にマッカイと言ったという。食事の杯数を数える単位。「御飯を三チャバヌも食べた mi[cjabanu]。
- [Cju]ka[sji [o]o[o チュカシ ほんの少し（水などの場合）。「この甕には水がチュカシも [Cjuka]sji[mu [oo]o[o 入っていない】。
- [Cju]ku[re [o]o[o チュ / クレ 一食。
- [Cju]cji[ki [o]o[o チュ / チキ 一月。
- [Cju]cji[bu [o]o[o チュ / チブ 一粒。
- [Cju]ma[sji [o]o[o チュ / マシ 田の一区画。
- [Cju]mi[cji [o]o[o チュ / ミチ [一道] 一緒。運命・生死などを共にする意味で使う。
- [Cju]wa[sji [o]o[o チュ / ワシ 製品としての焼酎の一升。十ワシ tu[wasji o[oo が一斗となる。
- [cu]ru[bo, [o]o[o, [curu]bo[[oo]o[(OK) ツルボー 釣竿。
- [ti]sa[zji [o]o[o ティサジ 手拭。ただし廃語。【沖縄から来た単語。】
- [tu]bu[sja [o]o[o トゥブシャ 簡単な灯火用具。
- [du]da[ri [o]o[o ドウダリ 汚物がいっぱい付着しているさま。
- [na]ka[ja [o]o[o ナカ / ヤ [中屋] 母屋と台所の間にある棟のこと。ただしこれのある家は少ない。
- [na]ga['wa, [o]o[o, [naga]'wa[nu [oo]o[o ナガ / ウウ [長豚] 子豚が成長して、親豚になる前の豚。
- [na]ka[ra [o]o[o ナカラ 半分。中途。(古)「なから」。
- [na]sji[cji [o]o[o ナシチ 人・家畜の子で発育悪く小さい者。

[na]Ta[du [o]o[o ナタ / ドゥ あなた自身。

[na]Fa[ju [o]o[o ナフッ / ユ 那覇世。琉球服属時代。

[ni]ga[cji, [o]o[o, [niga]cji[nu [oo]o[o ニガチ 二月。

[ni]ku[bu [o]o[o ニクブ ねこぶく。脱穀や籾干しの際に用いられる縄を編んで作ったむしろ。

[ni]zja[na [o]o[o ニジャ / ナ (植) にがな。うさぎの好物である。

[ni]zja[ju [o]o[o ニジャユ にがり。

[ni]bu[tu [o]o[o ニブトゥ [根太] 腫物。

<m>[nu]gu[ra [o]o[o ヌグラ「その、なに」。言葉がつまったとき、次の言葉までの間に発する言葉。

[nu]zja[gi [o]o[o ヌジャギ 食物がのどにひっかかること。

[ha]ka[me [o]o[o ハカメ 墓参。定期的には一日と十五日にする。死者のあった家では初七日までは朝夕する。

[ha]gi[sja [o]o[o ハギ / シャ [陰下] ものかげ。

[ha]ta[do [o]o[o ハタド 分配の不公平。一方には多く、一方には少く与えること。

[ha]sa[be [o]o[o ハッサ / ベ このくらい。

[ha]ni[bu [o]o[o ハニブ (植) えびづる・のぶどう。タノー [ta]no[:[(带状水泡) の治療には、この茎を一〇センチ程度に切り取り、一方の端に口をあてて患部にその液汁を吹き付ける。

[ha]bi[ra [o]o[o ハビラ 蝶。

[ha]ma[Ta [o]o[o ハマタ [釜蓋] 諸を煮る鍋にかぶせる蓋。藁や麦藁で円錐形に作る。

[ha]ra[sju [o]o[o ハラシュ 月の七、八日および二十二、三日の干満の差の少ない潮。【干上がらず、釣りに行けない。】

[ha]ra[zji [o]o[o ハラジ 髪。明治の初め頃までは男女とも結髪。男はまげを頭上につくり、女は後頭部につくった。

[ha]ra[da [o]o[o ハラダ 乾田 【干上がった田で、良くない】。

[ba]ku[jo [o]o[o バクヨ ばくろう 【牛馬の】。

[hji]zji[cji [o]o[o ヒジチ 【横糸の】 梭。これに突かれると大きくなれない。だから子供は機を織る傍に来るものではない。もし突かれたら梭の先を噛む。

[hji]zja[ma [o]o[o ヒジャマ 火災の精。鶏に似ていて赤いほおかむりをし、空の甕や桶・かご等に宿るものとされた。

[hji]mu[nu [o]o[o ヒムヌ [干物] 正月や歳の祝などに、家族および来客にあげる祝儀用のはさみ肴で昆布やするめを小さく切ったもの。これに軽く塩を載せて渡す。

[hi]re[ta [o]o[o ヒレタ 平ぺった。

[Fu]sji[cji [o]o[o フシチ 酒を醸造する際などに用いる道具。(古)「こしき」(米などを蒸すのに使う道具。鉢や甕の形で底に湯気を通す穴がある)。

[Fu]ta[na [o]o[o フタナ ウムティとトーグラをつなぐところ。かつては渡りとして地面に石を置いてあったのが、短い板の廊下となり、さらに一つの部屋となった。

[Fu]ta[bi [o]o[o フタビ 今度。今年。(古)「こたび」(今回)。

[Fu]cji[nu [o]o[o フチヌ ふきん。

[Fu]nu[ja [o]o[o フヌヤ この頃。近頃。

[Fu]ne[da [o]o[o フネダ この間。

[Fu]mi[ru [o]o[o フミル ばん(水鳥名)。苗代を荒らす。【苗を食べてしまう害鳥。】

[Fu]mu[ku [o]o[o フムク 舞い上がる小さなほこり。(古)「ごもく」(ごみあくた)。

[bu]ra[ru [o]o[o ブラル 地名や方角名につけて集落を意味する。アカタジ/ブラルはアカタジという集落。【[Nja:]gubura[ru [○]ooo[o 皆川, [Fa:]bura[ru [○]oo[o はずれの集落。】

[ma]zji[ni [o]o[o マジニ 同時に。一緒に。

[ma]ta[be [o]o[o マタベ 【米の】ひこばえ。作物を刈って後に出た芽。米作が二期作になる前は稲のひこばえを牛馬【馬は稀】の飼料とした。

[ma]cji[ge [o]o[o マチゲ 間違い。

[ma]ru[ta [o]o[o マルタ そのままそっくり。

[mi]sji[ge [o]o[o ミシゲ しゃもじ。

[mi]sji[ja [o]o[o ミシヤ 店屋。店。

[mi]zji[rja [o]o[o ミジリヤ あなおもしろ。おもしろいときに発する言葉。

[mu]ka[zji [o]o[o ムカジ むかで。

[mu]sji[gwa [o]o[o ムシグワ 蚕。

[mu]na[zji [o]o[o ムナジ (魚) むろあじ・うるめ等。

[ja]ma[tu [o]o[o ヤマトウ [大和] 日本本土の総称。

[ja]ri[go [o]o[o ヤリゴ 破れ布。ぼろ。

[ju]nu[ja [o]o[o ユヌヤ 満一年。幼児の歳をいうのにユヌヤになったとかならないとかよくいう。

[wa]ra[bi, [o]o[o, [wara]bi[[oo]o[ワラビ (植) こしだ。【山菜とは違うもの。山にあり、茎で籠を作る。】

[wa]ra[bi, [o]o[o, [wara]bi[[oo]o[ワラビ 童。子供。

[wa]na[gu (OK) [o]o[o ヲウナグ をなご。女。

[ʼasji]zja[:] [[oo][[o アシジャ あしだ。下駄のこと。

[’acjɪ]Ke[:][oo][o アチキ〔熱気〕湯気。

<m>[’acjɪ]Ke[:][oo][o アチケ（貝）しゃこ貝。

[’abu]ra[:][oo][o アブラ 油。石油。粥の上にできる膜。

[’icju]zja[:][oo][o イチュジャ 先が三本に分かれた魚を突くやす。

<m>[’icju]ma[:][oo][o イチュマ・イトウマ 暇。（古）「いとま」。

[’usju]ni[:][oo][o ウシュ / ニー 〔潮煮〕潮水で煮炊きすること【落花生などを】。
豚の餌料などをそうする。

[’ucjɪ]zji[:][oo][o ウチジー 打撲を受けてその際は何ともないが、後になって悪化
すること。

<o>[’una]ni[:][oo][o ウナニ 牝牛。【[mi:]’usji[:][○]o[o が普。雄牛は
[wu:]’usji [○oo]

[’umu]ti[:][oo][o ウムティ 表。表座敷。母屋。舟のへさき。母屋は屋敷の東側に
南向きに造る。

[’umu]me[:][oo][o ウム / メー 諸入りの御飯。

[gasa]na[:][oo][o ガッサナー そんなに多く。それだけずつ。「ガッサナー分けても
らえたのか」。

[kama]cji[:][oo][o カマチ 顔の罵語。

[kugu]cji[:][oo][o クグチ てんかん。水辺でよく発作が起こるという。発作中の
者を見てからすぐ空を見ると感染するという。（古）「くつち」。

[kuru]he[:][oo][o クル / ヘー 黒南風。旧二月頃に吹く雨を含んだ南風。これが
吹くと苗代がよく育つという。

[sara]cji[:][oo][o サラチ（植）さるかけみかん。o 山羊の好物。燃料にもした。【ト
ゲあり。】

[sjɪta]ku[:][oo][o シタク 仕度。準備。

[sjibu]ra[:][oo][o シブラ 難渋。【[sjibu]ra[:]_%sjuN [oo][[○_%○ 苦勞する。】

[tacjɪ]bi[:][oo][o タチビー 命日。一年忌・三年・七年・十三年・十七年・二十五年・
三十三年忌に家庭で供養をする。

[tama]na[:][oo][o タマナ（植）キャベツ。芯も塩漬け・味噌漬けとして利用さ
れる。

[naga]sjɪ[:][oo][o ナガシ ながし。梅雨。

[nusu]du[:][oo][o ヌスドゥー ぬすびと。泥棒。

[nuzu]mi[:][oo][o ヌズ / ミー のぞき見。

[haga]ni[:][oo][o ハガニ 鏡。ha[gani= 鶏のとさか。【両者はアクセントが異な
る。】

[hasji]cji[:][oo][o ハシチ 赤飯。すなわち糯米に小豆を混ぜて蒸したもの。糯米や麦を蒸したもの。(古)「かしぎ」(飯を炊くこと。炊事すること)。

[hata]gu[(:)[oo][o ハタグ〔片伍〕対のものの片一方。【下駄などの。】

[hata]hja[:][oo][o ハタハヤ 片身。魚を三枚におろした際の片方の肉。

[hacji]cji[:][oo][o ハチチ しらひげうに。卵巣を生で食べる。天ぷら、雑炊のだし、酒の肴、卵とじ、しおから等にする。

[hara]mi[:][oo][o ハラミー 魚の卵。魚の卵巣。

[haro]ja[:][oo][o ハル / ヤー 【畑の中にある?】 農家。

[Fuku]cji[:][oo][o フクチ がじゅまる等の朽ちてぼろぼろになったもの。【戦後、マッチのないときに】竹筒に入れ点火して火種とした。(古)「ほくち」(火打ち石で出した火を移し取る物)。【桶の隙間に入れて水がもらないようにもした。】

[Fudu]cji[:][oo][o フドゥチ 機織り用のおさ。

[mutu]ja[:][oo][o ムトゥヤ 本家。実家。

[waja]ku[(:)[oo][o ワヤク 邪魔。「人のワヤクするな」。

'a[gajuN o[o○ アガユン 上がる。日や月が昇る。雨がはれる。仕事を終える。

'a[gime: o[o○ アギ / メー〔揚げ飯〕油で妙めた御飯。多くは残飯を活用する。

'a[kijuN o[o○ アキユン 開ける。開墾する。「山をアキて畑にする」。

'a[gijuN o[o○ アギユン 揚げる。妙める。

'a[sjibiN o[o○ アシビン 遊ぶ。

'a[tinaN o[o○ (OK) アテナン 知らない。

'a[dujuN o[o○ アドゥユン ひどく参る。「夜まで働かされてすっかりアドゥた」。

'a[namiN o[o○ アナミン 甘える。

'i[kijo: o[o○ イキョー〔行けよ〕別れの際のあいさつ語。送る側がこういふと、送られる側はウリョー wu[rijo: o[o○ (居なさいよ) という。路上で別れる場合は両方とも「イキョー」という。

'i[zjimuN o[o○ イジムン 勇者。【むしろ、賢い者。】

'i[cjumiN o[o○ イチュミン いきむ (お産の際など)。

'i[cjojuN o[o○ イチョユン 行き会う。尋ねて行って会う。

'u[sajuN o[o○ ウサユン 押される。圧される。睡眠中にもののけなどに襲われる。(古)「おそはる」(夢の中でもものに襲われる)。

'u[sjosjuN, o[o○ ウショシュン 物を一所に寄せる。一緒にする。【着物を左右から寄せて前できちんと合わせる意。】

'u[sujuN o[o○ ウスユン 圧さえる。押す。覆い隠す。埋める。鶏が卵を抱く。

'u[domuN o[o○ ウド / ムン 横着者。

'u[tojuN o[o○ ウトユン 歌う。鶏がときを告げる。

'u[bijuN o[o○ ウビユン ふろがまの下の火をたきつける。

'u[busa: o[o○ (OK) ウブーサ (幼) 幼児を両手で高く差しあげながら言うことば。

'u[bejuN o[o○ ウベユン 水を加えて焼酎の度や風呂の温度をさげる。

ga[zjigui o[o○ ガジグイ [くすぐり] 三味線の音に装飾をつけるための技法。人差指で弦を押さえた場合は中指で、中指で押さえた場合は小指で、軽くやや高音の部分にくすぐること。

ga[rade: o[o○ ガラデー (植) 竹。

ka[wajuN o[o○ カワユン 変わる。替わる。

ku[kijuN o[o○ クキユン ものの下からくぐる。

ku[nesjuN o[o○ クネシュン いじめる。酷使する。

ku[bejuN o[o○ クベユン くべる。燃やす。たきつける。【[me:sjuN [○○ が本来。クベユンは共通語化した形だという。】

ku[mimuN o[o○ クミ / ムン [踏み物] 履物。

ku[ragai o[o○ クラガイ くらがり。暗い所。

ku[rago: o[o○ クラ / ゴー [暗川] 石灰岩が地下水に溶かされてできた洞穴。島では貴重な水の供給場所であった。

ku[rijuN o[o○ クリユン 呉れる。あげる。「君にあげよう」でなく「君に呉れよう」という言い方をすることがある。敬語は「オイシュン」['oisjuN [○○。

ku[rijuN o[o○ クリユン 暮れる。「日が暮れる」でなく「夜が暮れる」という言い方をする。

ku[rojuN o[o○ クロユン 食らう。食うや飲むの罵語。「酒クロユン」。

sa[gujuN o[o○ サグユン 探る。

sa[dajuN o[o○ サダユン 先立つ。先発する。先に歩く。

sa[migwa: o[o○ サミグワー サミ (癢疹) を患っている人。

sa[rijuN o[o○ サリユン 冴える。月が澄みわたる。

sa[wajuN o[o○ サワユン さわる。邪霊が人畜にたたる。

sji[gajuN o[o○ シガユン すがる。ひつつく。子供がまとわりつく。果物が群がって付く。

sji[kijuN o[o○ シキユン 煮炊きの準備として鍋釜をかまどにすえる。

sji[sjijuN o[o○ シシユン すする。

sji[nubiN o[o○ シヌビン 人目を避けて通う。(古)「しのぶ」。

sji[bujuN o[o○ シブユン 【乳を】吸う。【飴を】しゃぶる。

sji[miſjuN o[o○ シミシュン 煮しめる。
 sji[mijuN o[o○ シミュン させる。
 sji[mojuN o[o○ シモユン 【後】 始末する。終える。
 su[gajuN o[o○ スガユン 風に吹かれる。
 ta[kubiN o[o○ タクビン 【着物を】 畳む。
 ta[bujuN o[o○ タブユン 保存する。
 ta[majuN o[o○ タマユン 持ちがよい。長持ちする。
 ta[rejuN o[o○ タレユン 足らせる。補う。付け加える。
 cji[kesjuN o[o○ チケシュン 〔使いする〕 招待する。
 cji[zjikaN o[o○ チジカン 続かない。耐えることができない。「こんなに暑くてはチジカン」 【体力】。
 cji[zjosjuN o[o○ チジョシュン つなぐ。
 cji[tamai o[o○ チタマイ しずく。
 cji[nazjuN o[o○ チナジュン o つなぐ。o 家畜を飼育する。かつて野つなぎにして飼育したことからきた語であろう。
 cji[bajuN o[o○ チバユン 気張る。精出す。がんばる。
 cji[ruzjuN o[o○ チルジュン つなぐ。o (血筋や穴などが) つながっている。
 tu[gejuN o[o○ トウゲユン 半気違いみたいになる。(廃語)。
 tu[rijuN o[o○ トウリユン 天候が穏かになる。風波が静まる。人の騒ぎや泣き声が静まる。
 ni[zosai o[o○ ニゾサイ かわいそうに。感動詞的に使われる。
 ni[bujuN o[o○ ニブユン 眠る。
 <m>nu[kimuN o[o○ ヌキムン 抜きんでた者。【すぐれた人。】
 <m>nu[rajuN o[o○ ヌラユン ののしられる。
 ha[sazjuN o[o○ ハサジュン o(植物の葉などを) もぎ取る。o(茎などを) 細かく分ける。
 ha[sjigui o[o○ ハシグイ 痰。
 ha[zjitui o[o○ ハジトウイ o 梶取り。o 競走の最後尾。
 ha[zjiFai o[o○ ハジ/フワイ 意地っぱり 【な人】。
 ha[zumiN o[o○ ハズミン はずむ。気前よく金品を出す。
 ha[tajuN o[o○ ハタユン 〔語る〕 教える。x 告げ口する。ナロシュン [naro]sju[N (教える) は上下関係だがハタユンは必ずしもそうではない。
 ha[tejuN o[o○ ハテユン (両足・着物の前などを 【無意識に】) 広げる。
 ha[busjuN o[o○ ハブシュン o 餌をまいて魚をおびき寄せる。o 金や物で人を釣る。
 ha[rijuN o[o○ ハリユン o 枯れる。x 腫物が治る。

ba[kijuN o[o○ バキユン 化ける。ランプの火の燃えぐあいが変になる。

hji[sjizjuN o[o○ ヒシジュン 潰す。

<m>hji[zujuN o[o○ ヒズユン 削る。

hji[cjimi: o[o○ ヒチ / ミー [引き目] 横目。盗み目。

hji[njajuN o[o○ ヒニャユン 減る。(古)「へなる」。

hji[ma(′)jaN o[o○ ヒマ / イャン [暇要らぬ] 時間をとらせぬ。すぐである。「そのく
らいの仕事ならヒマイャン」。一語のように用いる。

bi[ratai o[o○ ビラタイ o 柔かいこと。o 弱いこと。o 病弱者。

Fu[gasjuN o[o○ フガシュン o 穴を開ける。o 頭をけがする。

Fu[dijuN o[o○ フディユン 育つ。成長する。「穂出る」の転か。【cf. [Fudi]ju[N
[oo] [[○ は雷が鳴る。】

Fu[nasjuN o[o○ フナシュン o 田を耕して柔らかく平らにする。x 人を苦しめる。(古)
「こなす」(砕いて細かにする。ひどいめに合わせる)。

Fu[micjuN o[o○ フミチュン 上からの照りと地面からの照り返しで非常に暑くなる。
(古)「ほめく」(ほてる。熱する)。

Fu[racjuN o[o○ フラチュン (口や穴を) 開ける【「開いている」は Fu[racju]N】。

bu[rigwa: o[o○ ブリ / グワー [群れ子] たくさんの子供【人間の】。

bu[rinai o[o○ ブリ / ナイ [群れなり] たくさんの果実がついていること。

Fu[rimuN o[o○ フリムン 馬鹿者。

Fu[rijuN o[o○ フリユン 気が狂う。馬鹿になる。

ma[kijuN o[o○ マキユン 負ける。

ma[zjimuN o[o○ マジムン 妖怪。(古)「まじもの」(神霊に祈って他に災害の及ぶよ
うにする)の転か。

ma[cjijuN o[o○ マチュン o 神や o 祖霊を祭る。神や祖霊に供える。祭りの際に出され
たものを飲食する。

mu[gejuN o[o○ ムゲユン 動く。

mu[kojuN o[o○ ムコユン 向かう。反抗する。

mu[namuN o[o○ ムナ / ムン [空物] からっぽなこと【箱や鍋などが】。

mu[naja: o[o○ ムナ / ヤー [空家] 空き家。留守。【一時的であっても言う。】

mu[nisji: o[o○ ムニ / シー [籾仕] 稲の脱穀から俵に詰めるまでの一連の仕事。

ja[sjijuN o[o○ ヤシユン やせる。

ju[gamiN o[o○ ユガミン ゆがむ。

ju[sjizjuN o[o○ ユシジュン o からだをゆすぐ。o すすぐ【物の洗濯も】。

ju[zjijuN o[o○ ユジユン o 譲る。他へ移る。o 移転する。【引っ越すも。】

ju[nubui o[o○ ヌヌブイ 居眠り。

ju[misoi o[o○ ヌミ / ソイ 結婚式。

wa[kasjuN o[o○ ワカシュン 水や湯を沸かす。

wa[rojuN o[o○ ワロユン 笑う。

wu[dujuN o[o○ ヲウドユン o 踊る。o 人や牛馬等が走る。共通語にした場合、「走って行った」というべきを「おどって行った」と言うのは誤り。

wu[bujuN o[o○ ヲウブユン 振る。ゆすぶる。

wu[rabiN o[o○ ヲウラビン o 叫ぶ。? 嘆きを他人に訴える。(古)「おらぶ」(大声で叫ぶ。わめく)。

'i[cjizju:= o[o○= イチジュ 御馳走を入れて携えるための重箱。

ga[rade:= o[o○= ガラデー (植) 真竹。門松の竹・庭ぼうきの材料・えんどうの支柱等に用いる。

sju[kusjo:= o[o○= シュクショー x 食傷。x 度々であるため飽きること。x 懲りること。

【この意味ではなく、青い桃などを生で食べて体調を壊して吐くこと。一種の食あたり。】

ta[cje]raN o[o○ タチェラン o 足りない。o 間に合わない。

du[ku]saN o[o○ ドウクサン 壮健である。

mi[sja]raN o[o○ ミシャラン 久しぶりに会った時などに「美しくなったね」という気持ちのあいさつ。【女性に対して言う。】

mi[sja]raN o[o○ ミシャラン [見知らん?] 長い間会わなかったため、相手の顔形が変わって見分けがつかない程だという意に使う。「いつの間にかこんなに大きくなってミシャラヌことになったね」。【上記と同源語と見られるが、原文は別見出しでページも別。】

ju[kwa]cju: o[o○ ユクワ / チュー o よい人。o お人好し。【島の上流の人々と同形。】

['aga]cju[N [oo][[○ アガチュン 働くの意だが、もがきあせるという気持ちが含まれる。「いくらアガチも生活は楽にならない」。(古)「あがく」(手足を動かしていらだつ)。

['agu]mi[N [oo][[○ アグミン 足でよじのぼる。

['asa]ju[N [oo][[○ アサユン あさる。物を探すためかき回す。

['asji]ku[i [oo][[○ アシクイ 田畑に持って行く食事。また、豚・鶏のアシクイといって飼料の意に用いる場合もある。

['asji]ju[i [oo][[○ アシユイ 足休め。遠行の途中、どこかに立ち寄って一休みすること。

- [ʼazji]ju[N [oo]][[○ アジユン 交差させる。
- [ʼacji]ne[:[[oo]][[○ アチネー あきない。買い物。
- [ʼacji]ju[N [oo]][[○ アチユン 熱くなる。
- [ʼatu]je[:[[oo]][[○ アトゥ / エー 後祝。多くの客を招いての宴の翌日あたり、身内や加勢の人々だけでする慰労の宴。
- [ʼaba]ka[N [oo]][[○ アバカン たくさんあって入りきれない。「みかんが多くて、このざるにはアバカン」。
- [ʼabi]ju[N [oo]][[○ アビユン 呼ぶ。誘う。招待する。声を張りあげて歌う。
- [ʼama]gwa[N [oo]][[○ アマグワン〔雨願〕 雨乞い。山頂等到大勢集まり、ほら貝を吹いたり鐘を叩いたりして降雨を願った。
- [ʼama]ju[N [oo]][[○ アマユン 叱る。
- [ʼaja]tu[i [oo]][[○ アヤトゥイ 綾取り。二人向きあって、両手の指にかけた糸の輪を交互に受けてなんらかの形を造る遊び。歌舞遊興。一人でもできる。
- [ʼiki]ju[N [oo]][[○ イキユン 生きる。活ける。埋める。
- [ʼiku]ke[:[[oo]][[○ イク / ケ 何回。
- [ʼiku]ta[i [oo]][[○ イク / タイ 何人。(古)「いくたり」。
- [ʼizji]ju[N [oo]][[○ イジユン 出る。
- [ʼicju]bu[i [oo]][[○ イチュブイ 不精。怠け。
- [ʼicjo]ju[N [oo]][[○ イチョユン 御馳走する。
- [ʼinju]ju[N [oo]][[○ イニユン 祈る。同じことを何度もぶつぶつ言う。
- [ʼimi]ju[N [oo]][[○ イミユン 催促する。ねだる。
- [ʼuki]ju[N [oo]][[○ ウキユン 受ける。田畑を借り受ける。承諾する。
- [ʼucji]ku[i [oo]][[○ ウチクイ 婦人が農耕や頭上運搬の際頭に被るもの。夏物と冬物がある。
- [ʼucji]tu[i [oo]][[○ ウチトゥイ〔おき取り〕 たばこぼん。
- [ʼucju]cju[N [oo]][[○ ウチュチュン 置く。仕事を中止する。
- [ʼucu]ra[N [oo]][[○ ウツラン 話が通じない。意が通じない。
- [ʼuti]ju[N [oo]][[○ ウティユン 落ちる。
- [ʼubi]ju[N [oo]][[○ ウビユン 覚える。記憶する。
- [ʼumu]sju[N [oo]][[○ ウムシュン 蒸す。
- [ʼuru]sju[N [oo]][[○ ウルシュン 下ろす。種を蒔く。
- [gabu]ju[N [oo]][[○ ガブユン 船が大きく揺れる。
- [kama]sju[N [oo]][[○ カマシュン 噛ませる。食わせる。
- [kami]mu[N [oo]][[○ カミ / ムン 食物。

- [kizji]ju[N [oo]] [[○ キジユン 禁止標を立てる。出入口を閉鎖する。
- [kiri]mu[N [oo]] [[○ キリムン 刃物。頭の切れる者。
- [kuku]mi[N [oo]] [[○ ククミン くくむ。口中に保つ。
- [kuku]mu[i [oo]] [[○ ククムイ つぼみ。(古)「くくもり」(内にこもって外から見えない)。
- [kusa]sju[N [oo]] [[○ クサシュン 言いくさす。人を悪く言う。
- [kuzji]ju[N [oo]] [[○ クジユン 人を悪くいう。くさす。
- [kuta]sju[N [oo]] [[○ クタシュン 腐らせる。堆肥等の場合に使う。(古)「くたす」(朽ちさせる。腐らせる)。
- [guma]zji[N [oo]] [[○ グマジン 小銭。
- [kumi]cju[N [oo]] [[○ クミチュン 泥の中に足がめり込む。
- [kuja]sju[N [oo]] [[○ クヤシュン 大枚を小銭に替える。【[kuzi]rasju[N [oo]]o[[○ (m)】
- [kuja]mi[N [oo]] [[○ クヤミン 悔む。死をいたむ。喪に服する。
- [kuri]ju[N [oo]] [[○ クリユン 発情する。さかりがつく。
- [kuru]nu[i [oo]] [[○ クル/ヌイ〔黒海苔〕食用として美味。
- [sani]ju[N [oo]] [[○ サニユン つねる。
- [saba]ku[i [oo]] [[○ サバクイ 干渉。下準備。
- [saba]cju[N [oo]] [[○ サバチュン 裁く。髪を梳く。
- <m>[sjika]sju[N [oo]] [[○ シカシュン 幼児をあやす。幼児の世話をする。(古)「すかす」(あやす)。
- [sjige]ra[N [oo]] [[○ シゲラン ～しつくせない。「あの頃の苦労は話してシゲラン」
- [ha]na[cji_][sjige]ra[N [o]]o[o_][oo]] [[○。
- [sjiko]ju[N [oo]] [[○ シコユン 準備する。「早くシコランと間に合わないぞ」
- [sjiko]ra[N. よそおいをする。「きれいにシコって出かけた」[oo]] [[○。【装いをする意が普通らしい。なお、命令形は[sji]ko[ri [o]]o[o.]
- [sjizji]cju[N [oo]] [[○ シジチュン 退く。後ろに身を引く。
- [sjizji]ju[N [oo]] [[○ シジユン〔巢出る〕卵がかえる。ものごと成功してのしあがる。
- [sjizji]ju[N [oo]] [[○ シジユン 煎ずる。
- [sjita]ju[N [oo]] [[○ シタユン 濡れる。(古)「しほたる」(ぐっしょり濡れる)。
- [sjibu]ju[N [oo]] [[○ シブユン 絞る。
- [sjimu]na[i [oo]] [[○ シムナイ 季節はずれに稔った果実。【まずい。】
- [sjusja]ba[i [oo]] [[○ シュシャバイ からだが硬直して柔軟性、動きの自在性を欠くさま。【むしろ、威張って歩く様。その歩き方を[sjusja]bai'acji[(:] [oo]]o[o [o とい

う。】

[susu]ju[N [oo][[○ ススユン 物を拭く。汗の場合はヌグユン [nugu]ju[N [oo][[○。
[tati]ju[N [oo][[○ タティユン 立てる。o 比べる。o 水を田に引く。o 風呂を沸かす。
o 戸を閉める。o 鼻緒を付ける。

[tabi]Cju[:[[oo][[○ タビ/チュー [タビ人] 本土から来た人。

[tama]ju[N [oo][[○ タマユン 反る。窪む。たわむ。【ベニヤ板などが。】

[tami]ju[N [oo][[○ タメユン・タミユン 【弓で】 的となるものをねらう。

[tari]ju[N [oo][[○ タリユン 【パンなど】 だろだろにものをこねまぜる。

[dara]sjju[N [oo][[○ ダラシュン やっつける。うちのめす。

[dari]ju[N [oo][[○ ダリユン 疲れる。

[CjiKa]mi[N [oo][[○ チカミン 掴む。捕える。

[Cjuku]da[i [oo][[○ チュ/クダイ 一踊り。【cf. Ta[kudai (二踊り) o[o○】

[Cjusji]'u[i [oo][[○ チュシ/ウイ その年最後、すなわち旧暦九、十月にさつま蒔を
植えること。

[CjuTi]bu[i [oo][[○ チュ/ティブイ 一束。三束で一チカ、十チカで稲なら一マルチ、
稲苗は一ヌチ。

[cuku]ju[N [oo][[○ ツクユン 作る。作物を育てる。

[dika]sji[: [oo][[○ ? ディカシー いいなあ。羨しいなあ。

[dika]sjju[N [oo][[○ ディカシュン 得をする。(古)「でかす」(うまくやる)。

[dika]cja[N [oo][[○ ディカチャン もうけた。

[tide]mu[N [oo][[○ ティデムン 進物。贈り物。歳の祝などのある家に贈る米・菓子・
酒・反物等。

[tide]ju[N [oo][[○ ティデユン 贈物をする。

[tume]ju[N [oo][[○ トウメユン 探し求める。(古)「とめる」。

[tura]sjju[N [oo][[○ トウラシュン 取らせる。与える。(古)「とらせる」。

[duge]ju[N [oo][[○ ドウゲユン 【ばったりと】 倒れる【病気では言わない】。

[nabi]tu[i [oo][[○ ナビ/トウイ [鍋取り] 藁を編んで十センチと七センチ程度の長方
形の物を二個作り、紐縄で連絡する。一つずつ両手に持って鍋を掴む。

[naro]sjju[N [oo][[○ ナロシュン 教える。

[naro]ju[N [oo][[○ ナロユン 習う。

[nigo]ju[N [oo][[○ ニゴユン のがれる。すべきことや、出すべきことの割りあてを免
除される。

[nizji]ju[N [oo][[○ ニジュン 食物に不自由する。すきっ腹になる。食事を抜く。「今
日は忙しくて昼食はニジた [nizji]ta[N [oo][[○]。

- [nuzu]cju[N [oo][[○ ヌズチュン のぞく。
- [nubja]ga[i [oo][[○ ヌビャガイ すぐ隣り。【近く。】
- [haga]sju[N [oo][[○ ハガシュン 剥ぐ。o 潮気 [sju:] [○] をゆすぎ去る。o 角力や喧嘩で取っ組み合っているのを引き離す。
- [haga]ju[N [oo][[○ ハガユン 引っぱる。
- [hagi]ju[N [oo][[○ ハギユン 剥げる。剥げる。
- <m>[hasji]cju[N [oo][[○ ハシチュン 粃種を水に漬けておいてから、一昼夜してかますに入れ、かまどや堆肥等の傍に置いて発芽をうながす。
- [hazji]cju[N [oo][[○ ハジチュン o 水にもぐる。o 水中に落ちる。(古)「かづく」(水中にもぐる)。
- [hazji]Fa[i [oo][[○ ハジフワイ 配分。
- [hazji]ju[N [oo][[○ ハジユン o 着物等を脱ぐ。o かぶっているふとんをはがす。o 屋根を取りはずす。
- [hata]bu[i [oo][[○ ハタ / ブイ 片降り。夕立ち。
- [hacji]cju[N [oo][[○ ハチチュン はじく。
- [hati]mu[N [oo][[○ ハティ / ムン 副食物。
- [hati]ju[N [oo][[○ ハティユン 副食物として食べる。御飯の不足を補うため諸を食べる場合も、o 諸をハティユンという言い方をする。
- [hano]ju[N [oo][[○ ハノユン 適う。匹敵する。いろんな面に器用である。
- [hano]ra[N [oo][[○ ハノラン 適わない。からだか意のままにならない。「年とったせいで足がハノラなくなった」。
- [haba]cju[N [oo][[○ ハバチュン 大食する。
- [habu]ju[N [oo][[○ ハブユン o (帽子を) かぶる。o (水を) 浴びる。o (傘を) さす。o (借金を) 負う。o (罰を) 受ける。
- [hami]ju[N [oo][[○ ハミユン (一) o 物を頭に載せることで、島の婦人に最も多い運搬法。(二) o (牛が角で) 突く。(三) o (妻を、夫を) もらう。
- [haja]sju[N [oo][[○ ハヤシュン o (一) (舟などを【車も】) 走らせる。o (二) (水や汗、よだれ ju[dai o [○ 等を) 流す。o (三) (茶を茶碗に) 注ぐ。
- [hara]ku[i [oo][[○ ハラクイ 企画。策略。やりくり算段。
- [hara]mi[N [oo][[○ ハラミン はらむ。o みごもる。o 石垣の中央部が前に突き出る(これはやがて崩れる状態である)。
- [hji'a]ga[i [oo][[○ ヒアガイ 冷えによる o 腫物や傷の悪化。
- [hjire]ju[N [oo][[○ ヒレユン 平ぺったくなる。平ぺったくつぶれる。
- [hjiro]ju[N [oo][[○ ヒロユン ? (世間と) へり下って交わる。o (親・しゅうと・し

ゅうとめに) 仕える。

[Fuka]sju[N [oo][[○ フカシュン 自慢する。

[Fuki]ju[N [oo][[○ フキユン 【小鳥が】 さえずる。(古)「ふける」。

[Fudu]cju[N [oo][[○ フドゥチュン ほどく。

[Fune]ju[N [oo][[○ フネユン こらえる。がまんする。【精神的な悔しさの我慢のみ。】

[Fuma]ju[N [oo][[○ フマユン 籠もる。家から外に出ない。

[busji]ka[N [oo][[○ ブシカン (植) みかんの一種で味噌漬けにする。香気がある。沖
永良部特有の漬物である。

[bute]ju[N [oo][[○ ブテユン 肥える (家畜に用いる)。

[Masa]mu[N [oo][[○ マサ / ムン おいしいもの。御馳走。

[mata]ta[N [oo][[○ マタタン [待つことができた] 遠方にいる、旅に出ている家族を
久しぶりに迎えることができた。

[mado]ju[N [oo][[○ マドユン 費やす。o 浪費する 【電気代などを】。o 弁償する。

[mugi]ju[N [oo][[○ ムギユン 剥げる。離れ落ちる。

[muta]bi[N [oo][[○ ムタビン もてあそぶ。

[mute]ju[N [oo][[○ ムテユン もたれる。食物が消化せずに胃に残る。

[mudu]ju[N [oo][[○ ムドゥユン 戻る。帰る。

[munu]'i[: [oo][[○ ? ムヌ / イー 物入り 【金がかかる】。ついで。(古)「ものいり」。

[jasji]mu[N [oo][[○ ヤシムン 安物。たやすいこと。

[jase]'u[i [oo][[○ ヤセウイ 白瓜。【小さい。】

[jacji]Fa[i [oo][[○ ヤチフワイ 人と反対して我意を通そうとする者。きかぬ気の子供。

[jari]ju[N [oo][[○ ヤリユン 裂ける。

[judu]mi[N [oo][[○ ユドゥミン o 泊る。o 滞在する。(古)「よどむ」(流れが滞る)。
o 泊る。o 滞在する。(古)「よどむ」(流れが滞る)。

[junu]mu[N [oo][[○ ユヌ / ムン 同じ物。o 似たりよったり。

[jumu]du[i [oo][[○ ユム / ドゥイ [ユム鳥] すずめ。【悪い意はないと。】

[juru]sju[N [oo][[○ ユルシュン o 許す。o 手を離す。o 捕えている鳥獣を放す。

[waka]sju[N [oo][[○ ワカシュン 分ける。区別する。x 差別する。

[waka]ju[N [oo][[○ ワカユン わかる。理解する。o 露見する。

[waku]ju[N [oo][[○ ワクユン からかう。

[wazja]da[i [oo][[○ ワジャダイ しまりのない笑い。またはそのような笑いをする人。

【おかしくもないのにする笑い。】

[wuga]mi[N [oo][[○ ヲウガミン o 【神様などを】 拝む。o 目上の人に会う。

- [ʼa]Fa[sa]N [o]o[○]] アフッサン 淡い。水っぽい。調味料が不足しているときの味。
- [ʼi]cja[sa]N [o]o[○]] イチャサン 少ない。
- [ʼi]ba[sa]N [o]o[○]] イバサン・シバサン 狭い。
- [ʼu]hja[sa]N [o]o[○]] ウヒヤサン 性格が大まかである。
- [ka]ro[sja]N [o]o[○]] カロシャン 尻が軽く敏捷である。
- [ki]cja[ro]: [o]o[○]] キチャロ [来たね] よく来たねという意味のあいさつ語。「フー
ラタロ」[Fu:]rata[ro]: [○]oo[○]] (OK) (来られたね) とも。
- [ku]ru[sa]N [o]o[○]] クルサン 黒い。
- [gu]nja[sa]N [o]o[○]] グニヤサン 小さい。小粒である。【Cf. [gunja]gu[mi
[oo]o[o] 粉米。】
- [gu]ma[sa]N [o]o[○]] グマサン 小さい。小粒である。
- [sji]ga[sa]N [o]o[○]] シガサン 汁などが水っぽい。
- [sji]gi[sja]N [o]o[○]] シギシャン 頻繁である。
- [sji]da[sa]N [o]o[○]] シダサン 涼しい。
- [sji]mu[sa]N [o]o[○]] シムサン 渋い。
- [sja]ma[sa]N [o]o[○]] シヤマサン 油濃くなくさらっとした味だ。【味噌にも言える
ので、「油濃くなく」はトルか。】
- [da]ro[sa]N [o]o[○]] ダロサン だるい。アグマシャは気分的な疲れ、仕事に取りかか
るべきなのにその気になれない状態。ダロサは肉体的な疲れ、すなわち労働の結果と
しての疲れをいう。
- [cji]ba[sa]N [o]o[○]] チバサン (仕事や人柄などが) きつい。
- [cji]ma[sa]N [o]o[○]] チマサン 栓などがきつくはまっているさま。
- [Cju]ra[sa]N [o]o[○]] チュラサン きれいだ。美しい。(古)「きよら」(美しいさま)。
【男女とも言える。また、掃除などをしていてきれいだの意も。】
- [du]cja[sa]N [o]o[○]] ドウチャサン 座り心地、寝心地が悪い。
- [na]ga[sa]N [o]o[○]] ナガサン 長い。
- [na]ge[sa]N [o]o[○]] ナゲサン 永い。【むしろ、長い。ナガ-との差は未詳。】
- [na]ma[sa]N [o]o[○]] ナマサン 生やさしい。きびしさを欠く。
- [ni]zja[sa]N [o]o[○]] ニジャサン 苦い。
- [ni]ta[sa]N [o]o[○]] ニタサン ねたましい。腹立たしい。
- [ha]go[sa]N [o]o[○]] ハゴサン 憎い。
- [ha]jo[sa]N [o]o[○]] ハヨサン かゆい。
- [ha]ra[sa]N [o]o[○]] ハラサン からい。
- [hji]zju[rja]: [o]o[○]] ヒジュリヤ おお冷たい。

[bi]ra[sa]N [o]o[○]] ビラサン 【餅や体が】柔かい。弱い。
 [Fu]ka[sa]N [o]o[○]] フカサン 深い。
 [Fu]ma[sa]N [o]o[○]] フマサン つつましい。遠慮深い。
 [Fu]ro[sa]N [o]o[○]] フロシャン o 精神的にまた o 経済的に苦しい。
 [ju]go[sa]N [o]o[○]] ユゴサン むずがゆい。

'anu[jo]: oo[○]] アヌヨー あのねえ。

Ta[naNka o[○o タ / ナンカ ふた七日。

ha[raNcja o[○o ハランチャ・フワランチャ 額。【cf. [hara]N[cja [o○]] [o は「つわり」の意。】

ta[gaN]cja o[○]o タガンチャ 格好良いのを褒めることば。「あの子の踊りのタガンチャ」。

[ga(t)]teN[cja [o]○[o, [○]○[o(f), gat[teN]cja ○[○]o(m) ガッテンチャ たったそれだけ (の高さ・価格)。「ガッテンチャで買えるのか」。

[sjɪ]kai[tu [o]○[o シカイトウ しっかりと。

['aga]N[sji [o○]] [o アガンシ あんなに。

<m>['icja]N[da [o○]] [o イチャンダ 徒労。無駄。(古)「いたづら」(役に立たない状態)。

['uda]: [da, [o○]] [o, ['uda]u[da, [oo]o[o ウダウダ 喜んでそのことに応じる、そのことをするという意を表わす語。

[gahe]N[cja [o○]] [o ガヘンチャ そんなに小さく。【[Ne]N[cja [○]] [o とも。】

[nibu]i[zji [o○]] [o ニブイ / ジ [眠り巣] 【人の】寝床。

[gasa]N[cja [o○]] [o (OK) ハッサンチャ これっぽち。

[hara]N[cja [o○]] [o ハランチャ つわり。

[bugi]N[sja [o○]] [o[ブギンシャ 分限者。金持ち。

[mimi]N[to [o○]] [o ミミン / トー 耳の遠い者。

'u[cjiNcjuN o[○○ ウチンチュン うつむく。

sa[guibui o[○○ サグイ / ブイ 探り掘り。諸・芋類をクイでもって必要に応じて大きなものから探し取ること。他のものに少しでも成長期間を与えるためである。

[’usju]Ncju[N [oO]][[O ウシュンチュン 後ろに体をひく。

[hata]Ncju[N [oO]][[O ハタンチュン 傾く。

[’a:gani [Ooo アー / ガニ 〔赤金〕銅のこと。

[’a:nizji [Ooo アー / ニジ (植) てりはのいばら。薬用となる。ニジはとげのこと。

[’a:bacji [Ooo アー / バチ (魚) あかぶだい。

[’a:hjicji [Ooo アー / ヒチ 赤櫃。ヒチは蓋のある大型の木箱。かつては衣類を多く所持せぬのでこれに収納するだけでこと足りた。

[’a:misju [Ooo アー / ミシュ 赤味噌。米を原料とした味噌が年月を経て赤くなったもので上の部の味噌である。

[’i:sjima [Ooo イーシマ 島の西部。すなわち田皆【タミナ】字方面。

[’ju:numi [Ooo イューヌミ 魚の目【足の】。x いぼ。

[’iNbara, [Ooo, [’uNbara [Ooo インバラ・ウンバラ 身ごもって大きくなった腹。

[’u:gutu [Ooo ウーグトゥ おおごと。たくさん。

<m>[’ukabi [Ooo ウッカビ 軽薄な者。

[’uttacji [Ooo ウツ / タチ 〔初立ち〕赤ん坊が生まれた家 (初産は実家でするのが普通) から母親と共に初めて他の家 (婚家、実家もしくは近親の家) を訪れる行事。

[’wa:cjiki [Ooo ウワーチキ 天候。「近頃ウワーチキ悪い」。

[’wa:hjizji [Ooo ウワー / ヒジ 〔上ひげ〕口ひげ。

[’uNzjaku [Ooo ウンチャク 葬送。家で祭祀をした後に霊を墓へ送ること。その際祭壇の神酒・洗米は携えて行って墓前に供える。

[’o:haza [Ooo オーハザ かびくさい匂い。

[kaNgwasji [Ooo カングワーシ あずきと砂糖を原料として蒸した菓子。法事の際の供物としてなくてはならぬもの。

[kaNcjiki [Ooo カンチキ 寒漬け。大根・人参等を屋外で寒にさらしてしなびさせて保存食にする。

[zji:Faja [Ooo (OK) ギー / フッヤ 〔議を張る者〕自分の理論をあくまでも主張する者。

[Kwa:nasji [Ooo クワー / ナシ 出産。同じ家で同じ年に二人出産させるものではないといわれる。なお、かつては座位が普通で、天井から綱を吊しこれを力として出産したという。

[Kwa:mucji [Ooo クワー / ムチ 子持ち。

[gwaNtari [Ooo グワントリ 粗末な物。立派でない物。

[go:bura [Ooo ゴーブラ (植) 南瓜。【巨体の悪口にも。】

[saNzata [Ooo サンザタ 炊き上げた砂糖が冷えないうちに棒で手早くかき回し、粘り

をなくして粉状にしたもの。お茶請けになる。重箱に入れて贈答用にもする。

[saNsjiiru [〇〇 サンシル 三味線。本土のそれより小型である。そのため高い微妙な音を出すことができる。

[sji:hata [〇〇 シーハタ 端の方。

[sji:waki [〇〇 シー / ワキ [作り分け・し分け] 収穫を地主と小作人が分けること。

[sja:sjiba [〇〇 シャー / シバ 下唇。

[sjiNsjaku [〇〇 シンシャク 胃けいれん。

[zjo:sjicji [〇〇 ジョーシチ 炊事。炊事人。(古)「ざふしき」(走り使いする下男)。

[zukkira [〇〇 ブッキラ 尾が切れていること。しりきれとんぼ。【トンボの他に、行動にも言う。】

[so:sjiki [〇〇 ソーシキ 葬式。人が亡くなった翌日、納棺・相伴膳の式の後、縁側から柩を出す。

[ta:wari [〇〇 ターワリ あかぎれ。

[taNdaru [〇〇 タンダル 誰々。

[Cju:gumu [〇〇 チュー / ゴム [人雲] 入道雲。梅雨が終わったことを示す。

[Cju:zjima [〇〇 チュー / ジマ 他島。他集落。

[Cju:cjibu [〇〇 チューチブ ニ斗入りの壺。【cf. tu[wasjigami (一斗甕) o[oooo]

[Cju:zjira [〇〇 チュー / ゼラ [人面] 人の顔【が暗くて判別できぬ、など】。

[Cju:bire [〇〇 チュー / ビレ 人とのつきあい。交際。

<m>[cjiNgure [〇〇 チン / グレ つまみ食い。

[cjiNdami [〇〇 チン / ダミ [鉉試し] 三味線の音の調節。

[de:bura [〇〇 デー / ブラ 竹筒。

[to:baru [〇〇 トーバル 平地、原っぱ (大)。

[tui buzjo [〇〇 トウイ / ブジョ 鶏の飼育や闘鶏に夢中な人。「鶏奉行」の転か。

[tuNduru [〇〇 トウンドル 処々。

[doNbuku [〇〇 ドンブク 背が低く横に肥えているさま。

[na:cjiki [〇〇 ナー / チキ [名づけ] いいなづけ。婚約者。

[na:mita [〇〇 ナーミタ [空言] でたらめな話。うそ。

[niNguru [〇〇 ニングル 妾。情婦。

[haNkata [〇〇 ハンカタ 短気者。

[haNzjasji [〇〇 ハンザシ 大勢の客を迎えるため、縁側から庭に張り出して作る仮座敷。

[hja:bate [〇〇 ヒャー / バテ 傾斜のある畑。

[hja:bire [〇〇 ヒャービレ 平ぺったいこと。

[Fu:jame [Ooo フー / ヤメ 大病。

[buihazji [Ooo ブイハジ ヒラリヤのため肥大した足。

[be:ruku [Ooo ベールク 嫌だという気持ちを強調した言葉。「あかんべーだ」というのに近い。【大人でも対等以下に使う。】

[ho:rasja [Ooo ホーラシャ 人が寄り集って祝い喜ぶさま。

[ma:'isji [Ooo マー / イシ〔真石〕黒くて固い石の一種【重石に使う】。永良部の多くの石は白くて柔らかい石灰岩である。

[maNburi [Ooo マンブリ ぞっこん惚れ。首ったけ【男女間】。

[mi:gumi [Ooo ミー / グミ 新米。

<m>[mi:tida [Ooo ミー / ティダ〔新太陽〕梅雨が終わってからの強烈な太陽。

[mi:nasji [Ooo ミーナシ〔実無し〕おっちょこちょいで着実性のないこと。その人。

[mi:nisji [Ooo ミー / ニシ 新北風。九月末頃に吹き始めるさわやかな北風。

[juibusji [Ooo ユイ / ブシ 結った髪の毛の根元。

[waigure [Ooo ワイ / グレ〔割り食らい〕麦を石臼で碎いて、粥や雑炊にして食べること。食料不足時代の食物で、ワイ / グレでは力がでないといわれた。

[ji:gure [Ooo キー / グレ 座食。o 働かずして食うこと【嘗めたことではない】。

[ji:dima [Ooo キー / ディマ〔居手間〕労せずして得た得。例えば、ある物を貸りに行くこうしているとき、相手がたまたまそれを持って訪れるとキー / ディマを得たことになる。

[wu:'usji [Ooo ヲウーウシ 雄牛。

[wu:zjiru [Ooo ヲウー / ジル〔雄弦〕三味線の最も低い音を出す弦。

[ni:hara= [Ooo= ニーハラ 胸。

[Ma:niti= [Ooo= マーニティ ここで。そこで。

[nu:]kaja [O]oo ヌーカヤ 何かな。

[nu:]gara [O]oo ヌー / ガラ 何やら。なぜか。

[nu:]dicji [O]oo ヌーディチ〔何と言って〕なぜに。「ヌーディチそんなことをしてしまったのか」。

[Me:]cjiki [O]oo メーチキ お申しつけ。o 訓戒。【動詞は [Me:]cjikijuN [O]ooO】

[a:]zji[ra [O]o[o アー / ギラ〔赤面〕赤い顔【赤ら顔】。

[a:]tu[cji [O]o[o アートウチ 夜明け頃。(古)「あかとき」。

[a:]bu[sji [O]o[o アブシ 田の畔。田の境をなす土堤。

[aN]da[gi [O]o[o アンダギ 小麦粉・ふくらし粉・卵・砂糖を混ぜて水で練り、径五

センチ程度の団子にし、それを多量の油の中に投じて揚げたもの。

[’i:]zja[ni [O]o[o イージャニ どもり。どもりのまねをするとどもりになるという。

[’i:]zja[ni [O]o[o イージャニ 遺言。「親のイージャニ」。こりごりだという意を表わす語。「今日のようなきつい仕事はもうイージャニだ」。

[’i:]cja[bu [O]o[o イーチャブ 二か所に綱をかけ、その下部に板を渡したぶらんこ。

[’ik]ka[mu [O]o[o イッカム 何日も。

[’ju:]tu[ja, [O]o[o, [ju:]tui[ja [O]O[o イュー/トウヤ 釣り好きな人。漁師。

[’iN]zju[mi [O]o[o インジュミ はったい粉。これで雑炊やお粥をつくる。芋と混ぜてテンプラをつくる。砂糖を混ぜて湯で練って食べる。

<m>[’iN]da[ni [O]o[o インダニ〔稲種〕稲苗のこと。

[’ui]ki[ri [O]o[o ウイキリ 熟しきったもの。ませた子供。

[’ui]gu[ru [O]o[o ウイグル 果実の熟せず固くなったもの。子供のくせにからだは固くしまつて成長がとまった状態になっていること。

[’ui]cji[ke [O]o[o ウイチケ お使い。ちょっとした雑用。「子供がウイチケできるようになったので助かっている」。

[’us]sa[gi [O]o[o ウッサギ みにくい者。不美人。

[’wa:]ga[sji [O]o[o ウワーガシ 豚肉。塩漬けにして保存し、冠婚葬祭の際の御馳走とした。

[’wa:]nu[ja [O]o[o ウワーガヤ・ウワースヤ 豚小屋。昔は豚小屋が便所を兼ねていた。

[’uN]ba[ni [O]o[o ウンバニ 煮た蕎麦をこねただけの食物。

[’e:]ma[cji [O]o[o エーマチ あやまち。

[’o:]sji[ma [O]o[o オーシマ 奄美大島。

[’o:]nu[zu [O]o[o オースズ 青大将。【石垣の中によくいる。】

[’o:]ba[cji [O]o[o オーバチ（魚）青ぶだい。

[’o:]Fu[cja [O]o[o オーフチャ〔泡吹き者〕自慢する者。

[’o:]mu[cji [O]o[o オームチ あわ餅。

[’oi]ta[cu [O]o[o オイタツ お手玉遊び。お手玉は砂や小石を小布に包んで縫う。「おひとつ」の転か。

[gac]cji[ri [O]o[o ガッチリ かっきり。ちょうど。「ガッチリー一斤だ」。

[gja:]Fu[bi [O]o[o ギャー/フビ 板でない茅の家壁。明治の頃はこれが多かったという。

[gja:]bu[cji [O]o[o ギャー/ブチ 茅葺き。

[gjiN]gi[cji [O]o[o ギンギチ（植）げつきつ。生垣となる。葉や実を珊瑚礁の潮溜まりに入れて魚を酔わせて獲った。

[kui]zu[mi [○]o[o クイズミ 赤茶色に染まるクイという植物の煮汁。またそれで染めた布地。【ただし、奄美大島の言い方だという。】

[gu:]zji[ru [○]o[o グージル 呉汁。大豆や落花生をすりつぶして入れた味噌汁。

[ko:]ba[ku [○]o[o コーバク 香箱。お茶請け入れ。

[Koi]bu[ta [○]o[o コイブタ 肥えた人。でぶ。

[go:]nu[mi [○]o[o ゴーヌミ がぶ飲み。

[saN]zji[cji [○]o[o サンジチ 夢遊。寝ぼけての言動。

[saN]bu[ni [○]o[o サンプニ 肋骨。【豚が主だが、人にも言える。】

[sji:]ga[ni [○]o[o シーガニ シーに棲む蟹で食用になる。

[sji:]ku[zji [○]o[o シークジ すりこぎ。

[sji:]ha[cji [○]o[o シーハチ すりばち。

[zju:]ga[cu, [○]o[o, <o>[zju:]ga[cji [○]o[o ジューガチ 十月。

[sju:]sji[bi [○]o[o シューシビ (貝) 白シビ。きいろ宝とはなびら宝のことで、oおはじきに使われる。したがっておはじきのこともシビという。

[sjo:]ga[cji [○]o[o ショーガチ 正月。門松を立て、浜から運んだ白砂を屋敷一面に敷きつめておいて、清浄な気持ちで正月を迎える。

[sjo:]gu[tu [○]o[o ショーグトゥ 本当・本当のこと。

[sjo:]zji[go [○]o[o ショージゴ 特定の泉か井戸。

[zju:]go[ja [○]o[o ジューゴヤ 十五夜。近くの浜や原っぱに出かけて月を眺めながら歌三味線で遊ぶ。十五夜の月が冴えていると麦が豊作、曇っていると不作といわれた。

[zju:]ba[ku [○]o[o ジューバク 重箱。御馳走を入れて外へ携えるための木製四角の箱。

[zjo:]hji[ma [○]o[o ジョーヒマ [常暇] 暇なこと。

[zjiN]ka[ni [○]o[o ジンカニ 銭・銭金。

[se:]ma[gu [○]o[o セーマグ セーの小型のもの。諸などを食べるときの容器とする。
? 子供が頭上運搬に用いる。

[ta:]ni[mu [○]o[o ターニム 田芋。子芋ができてから親芋を採って食べる。

[ta:]mu[ru [○]o[o タームル 焼き物。

[daN]ga[sa [○]o[o ダンガサ こうもりがさ。おらんだがさ → らんがさ → ダンガサ。

[Cji:]gu[sji [○]o[o チー / グシ [一日越し] 一日おき。

[Cji:]ta[cji [○]o[o チータチ ついたち。朔日。

[cja:]zju[ki [○]o[o チャージュキ 茶請け。黒糖・粉糖・味噌・漬物等が普通。

<m>[cjiN]du[sji [○]o[o チン / ドウシ [鉦通し] 鉦付きの大型の浅い鍋で流し口が付いている。

%ti:]ki[ra %○]o[o ティー / キラ 〔手切れ〕手の切れた人。【手が切れて、手のなくな
った人。】

[ti:]na[re [○]o[o ティー / ナレ 手習い。

[tiN]ga[ma [○]o[o ティンガマ・x ティンゴ 手いたずら。

[tiN]zji[ku [○]o[o ティンジク げんこつ。

[to:]ki[mi [○]o[o トー / キミ (植) 〔糖【唐の誤植か】黍〕とうもろこし。

[to:]zji[ni [○]o[o トー / ジニ (植) こうりゃん。粟や大豆と同一の畑で作られるのが
普通だった。お盆の日に供えるトージニ餅の原料である。

[to:]ba[sja [○]o[o トー / バシャ (植) 〔唐芭蕉〕かつてはバナナのことをこう言った。【小
さくて食べない。】

[to:]bi[ru [○]o[o トー / ビル (植) 〔唐ひる〕にんにくの一つ。太い茎をして、やわら
かくおいしい。

[to:]gu[ra [○]o[o トーグラ 普通の家はウムティ [’u]mu[ti [o]o[o とトーグラの二
棟である。トーグラは台所のある方をいう。

[tui]nja[ka, [○]o[o, [PiN]nja[ka [○]o[o トウイ / ニヤカー・ピン / ニヤカー ひよこ。

[tui]mu[cji [○]o[o トウイムチ 〔取り持ち〕人の接待。

[tuN]gu[sji [○]o[o トウングシ かんざし。藩政時代は男も長髪でかんざしを差した。
銀かんざしは役職にある者にだけ許され、一般は竹製であった。

[tuN]zja[ku [○]o[o トウンジャク 〔頓着〕世話。後始末。

[du:]bu[ni [○]o[o ドゥーブニ からだの骨。(古)「胴骨」。【特に痛むとき。】

[na:]zji[ru [○]o[o ナー / ジル 中弦。三味線の真中の弦。

[na:]ba[ja [○]o[o ナー / バヤ 〔中柱・真中柱〕大黒柱。

[na:]ba[ri [○]o[o ナー / バリ 〔中晴れ〕梅雨の中間で数日晴天の続く期間。

[na:]ga[ma [○]o[o ナーガマ 〔菜小〕菜っ葉。

[na:]su[bi [○]o[o ナースビ (植) 茄子。

[na:]bi[ra [○]o[o ナービラ (植) へちま。味噌汁に入れるほか、豚油で炒め豆腐等と
共に味噌味をつけて食べる。

[na:]ma[ta [○]o[o ナーマタ また。再度。

[na:]mi[cju [○]o[o ナーミチュ 再来年。

[naN]zji[cji [○]o[o ナンジチ 〔鍋付き〕【御飯の】おこげ。

[ni:]su[ra [○]o[o ニー / スラ 植物の根と末。

[ni:]bi[cji [○]o[o ニービチ 〔根引き?〕結婚式。

[ni:]bi[ru [○]o[o ニービル (植) のびる。葉は味噌汁に入れる。

[Nja:]mu[zji [○]o[o ニャー / ムジ 小麦。昭和になってからこれを押麦にして食べる

ようになった。

[no:]za[cji [○]o[o ノーザチ (植) はいきび【という草】。この葉にできる節の数だけ
その年は台風がくるという。

[no:]sju[da [○]o[o (OK) ノーシュダー 苗代。

[no:]su[bi [○]o[o ノースビ 小さな蟬の一種。

[haN]ga[di [○]o[o ハンガディ こうまで。「ハンガディなとは思わなかった」。

[haN]da[ma [○]o[o ハンダマ (植) すいぜんじな。若芽を浸し物にする。茹でて酢味
噌をかけて食べる。その他野菜として利用する。

[baN]sji[ro[[○]o[o[バンシロ (植) ばんじろう。果実が熟れると美味である。

[hji:]ku[sji [○]o[o ヒークシ 火起こし。o 火吹竹。o 穴の小さいことから転じてけち
ん坊。

[hji:]sa[mi [○]o[o ヒーサミ [寒さ思い] 寒がり。[hji:]sami[:]) [○]o[o[とも。

[hji:]nu[sja [○]o[o ヒーナ / シャ 木の下。木陰。

[hji:]bu[ra [○]o[o ヒーブラ 木叢。木立ち。【生い茂っている所。】

[hjik]ka[sji [○]o[o ヒッカシ [日稼?] 貧乏。貧乏者。

[biN]da[re [○]o[o ビンダレ びんだらい。【カネの】洗面器。

[Fu:]'a[zji [○]o[o フー / アジ 曾祖母。

[Fu:]'i[cji [○]o[o フー / イチ [大息] ため息。

[Fu:]cji[bu [○]o[o フー / チブ 大壺。三斗以上入る大きな味噌がめ。

[Fu:]na[bi [○]o[o フー / ナビ 大鍋 (1 斗)。

[Fu:]ma[sji [○]o[o フー / マシ 大きな田。

[Fu:]mu[zji [○]o[o フー / ムジ 大麦。かつては、麦の栽培は大麦が普通だった。粟と
並んで甘藷に次ぐ主要な食料であり、味噌の原料としてもなくてはならぬものだった。

[Fu:]mi[zji[[○]o[o[フー / ミジ 大水。

[Fa:]'u[cji [○]o[o ファーウチ 母屋はフアー (表座敷) とウチ 'u[cji・(内) の二つ
からなる。それを合わせて言う。

[Fa:]gi[sji [○]o[o フアーギシ 歯ぎしり【寝ていての】。歯がみ。o「フアーギシして
がんばる」。

[Fa:]zji[sji [○]o[o フアー / ジシ 歯ぐき。(古)「はじし」。

[Fa:]ja[mi [○]o[o フアー / ヤミ 歯病み。歯痛。

[Fa]sa[sji [○]o[o フワイサシ [針差し] 茅屋根を葺く際、フワイの穴に縄を通して、
屋根下から屋根上の人へ縄を渡す仕事。その仕事をする人。

[FaN]gu[ru [○]o[o フワングル 固いさま。「この実はフワングルになって食べられない」。

[he:]sji[ma [O]o[o ヘーシマ 着物が裏返しなこと。(古)「かへし」(裏表を逆にする)。

[he:](nu)ha[zji [O]o[o ヘーヌ / ハジ 南風。

<m>[be:]ka[ri [O]o[o ベーカリ 我も我もと求めるさま。「大勢の人がベーカリして買った」。

[ho:]ku[su [O]o[o ホークス そばかす。(古)「ほくそ」。

[ho:]bu[sji [O]o[o ホーブシ (植) 香附子。はますげ。【生え過ぎて厄介。】

[ho:]mu[sji [O]o[o ホームシ [皮虫] ありもどきぞうむしが表皮についているときの
名前。

[ma:]ni[gi [O]o[o マーニギ 不断着【普段着】。

[Ma:]nu[ma [O]o[o マーヌマ [ここのここ] すぐそこ。すぐ近く。

[mai]'u[sja [O]o[o マイ / ウシャ [尻上下]【上下】さかさま。

[mai]Fu[ga [O]o[o マイ / フガ ものごとにしまりのないこと。またそのような人。欠
損。【気前が良すぎたりして】欠損ばかりしている人。

[mai]bu[ni [O]o[o マイ / ブニ 座骨。尾てい骨。

[mat]ta[bu[[O]o[o[マッタブ 蛇の一種【無毒】。

[maN]ku[gi [O]o[o マンクギ (植) くすのはかえで。

[maN]da[cji [O]o[o マンダチ 両手にかかえきれぬほど抱くこと。

[maN]da[ni [O]o[o マンダニ まつやに。

[maN]zji[cju [O]o[o マンヂチュ 満月。

<m>[maN]ti[bu [O]o[o マンティブ 蛇。あかまた。

[maN]nu[gi[[O]o[o[マンヌギ そっくり。非常に似ているさま。「親とマンヌギの顔
をしている」。【[maN]nu[gi(]ja) そっくりだ】

[mi:]'u[cji [O]o[o ミー / ウチ [目打ち] まばたき。目くばせ。

[mi:]'u[ti [O]o[o ミー / ウティ [目落ち] 臨終。

[mi:]gu[Fa [O]o[o ミー / グフ 夜遅くなってもいっこうに眠くならない状態。

[mi:]gu[ra [O]o[o ミー / グラ ぎよろ目。

[mi:]sji[bu [O]o[o ミー / シブ 細い目【生まれつきの】。

[mi:]zji[ru [O]o[o ミー / ジル 三味線の高い音を出す弦。

[mi:]na[da [O]o[o ミーナダ 涙。

[mi:]nu[zu [O]o[o ミー / ヌズ [目の尾] 目尻。

[mi:]ha[gi [O]o[o ミー / ハギ [目禿げ] 目がただれていること。その人。

[mi:]Fu[re [O]o[o ミー / フレ 目ざめ。「太郎は今ミーフレした」。

[mi:]bu[ri [O]o[o ミー / ブリ 見ることに夢中なこと。

[miN]ga[mi [O]o[o ミン / ガミ 耳付きの甕。豚脂を入れ、耳に紐を通して吊しておく。

[MiN]ki[cji [O]o[o ミンキチ 思い切ってカー杯。
 [miN]zja[cji [O]o[o ミンザチ 着物の縫い目でないところからの破れ。
 [miN]zji[nu[[O]o[o[ミンジヌ (植) にんじん。
 [miN]zja[ni [O]o[o ミンジャニ 耳だれ。
 [miN]bu[ni [O]o[o ミンブニ 魚の胸びれ。
 [muN]zja[ra [O]o[o ムンジャラ 麦藁。o 釜蓋・o 笠・o 屋根葺き等の材料になる。o 燃料ともなる。
 [muN]zju[mi [O]o[o ムンジュミ・ムンズミ 玄米。
 [muN]da[ni [O]o[o ムンダニ〔物種〕種物【植物の】。
 [muN]cja[ri [O]o[o ムンチャリ 稲や麦の脱穀の仕事。
 [me:]'u[bi [O]o[o メーウビ〔前帯〕前に帯を結ぶこと。昭和二十五年頃まではo 婦人は前帯が普通であった。
 [me:]ga[mi [O]o[o メーガミ 前髪。
 [me:]ku[sa [O]o[o メークサ 織機の一部。
 [me:]zji[ku [O]o[o メージク〔前机〕死者の枕がみに供える当日急造の八つ足の小卓。その中央には位牌を、左右に茶せんと花筒を立てる。
 [me:]da[ri [O]o[o メー/ダリ〔前垂れ〕前掛け。
 [me:]ra[bi[[O]o[o[メーラビ〔女童〕年頃の娘。
 [mo:]ha[ni [O]o[o モーハニ (藻食み?) (魚) あいごの幼魚。シクヌクラーが成長して七、八センチ程度になったもの。
 [ja:]gi[sji [O]o[o ヤー/ギシ 新築見舞い。
 [ja:]da[cji [O]o[o ヤー/ダチ〔家立ち〕嫁入り。
 [ja:]nu[sja [O]o[o ヤーヌ/シャ〔家の下〕家庭。家庭内。
 [ja:]nu[cju・[O]o[o? ヤーヌ/チュ 家の人。家族。
 [ja:]mi[sji [O]o[o ヤー/ミシ〔家見せ〕結納後、結婚式前の適当な日に女性を婚約者の家に招く行事。
 [ja:]ju[zji [O]o[o ヤー/ユジ〔家移り・家譲り〕移転【引っ越し】。
 [jaN]cji[zji [O]o[o ヤン/チジ〔家頂〕屋根。
 [jaN]ba[ru [O]o[o ヤンバル 山原。沖縄の北部の地名。
 [ju:]gu[ri [O]o[o ユーグリ 乱暴。特に酒のうへの乱暴。「酔っくらい」の転か。
 [ju:]ju[ta [O]o[o ユーユタ 人の死後七日目にユタがする霊寄せ。
 [jua:]na[ti [O]o[o ユワナティ 一昨々日。
 [juN]ga[ni [O]o[o ユンガニ かもじ。【女が】まげを大きく見せるために入れる髪の毛。
 [juN]gu[re [O]o[o ユン/グレ〔寄り食らい〕o 若者達が一か所に集って、持ち寄った

米・鶏・野菜等で雑炊をつくり会食すること。

[juN]zji[cji [○]o[o ユン / ゼチ [寄り月] 閏月。閏月のある年は改葬してはいけないといわれる。

[juN]nu[cju [○]o[o ユンヌチュ 与論島の人々。

[juN]bu[sja [○]o[o ユンブサ 円錐形の茅葺きの屋根で主として砂糖小屋等の葺き方。

[ji:]ta[ba [○]o[o キータバ [ゆひ束] 労力の相互提供。A が B の仕事を何日かする代わりに、B が A の仕事を何日かする。

[wu:]'u[mi [○]o[o フウ / ウミ 芭蕉糸紡ぎ。婦人の夜なべとしてよく行われた【昼も】。

[wu:]na[bi [○]o[o フウナビ 夜なべ。夜業。夕食後気がねのいない人のトーグラに近辺の若い男女が集って軽労働をした。o 男は主に縄ない・草履作り等、o 女は糸紡ぎ・着物の繕い等をした。

['a:]micja[:] [○]o[o アー / ミチャ 赤土。これの粒子の細かいのは婦人の染髪料となる。さらに昔は衣類の染料にもなったという。

['wa:]sjisji[:] [○]o[o ウーシシ 豚肉。

[gat]tena[: [○]o[o? ガッテナー そんなに（高い【、多いも】）。「ガッテナーする品は買えない」。【[gate]na[: とも。沢山の意。】

[gat]to(do)na[: [○]o[o ガットナー・ガットドナー そんなに遠く。「ガットドナーから歩いてきたのか」 [gat]tonaka[ra [○]ooo[o。

[hji:]sami[:] [○]o[o ヒーサ / ミー [寒さ思い] 寒がり。

[Fa:]tuzji[:] [○]o[o フウ / トウジ 外妻【妾】。

[ma:]kura[:] [○]o[o マクラ 枕。かつては (?) 小道具を入れる引出し付きの方形の箱が枕として用いられた。

[mi:]jami[:] [○]o[o ミー / ヤミ 目病み。眼病。

[mi:]'usji[:] [○]o[o ミーウシ 雌牛。

['a:]gajuN [○o○ アーガユン 明るくなる。

['uicjicjuN [○o○ ウイチチュン 追いつく。追い越す。

['wa:]bazjiN [○o○ ウーバ / ジン 余分な金。

['wa:]bamuN [○o○ ウーバ / ムン 余計者。

['uNzumai [○o○ ウンズマイ 結局。とどのつまり。

['o:]dijuN [○o○ オーディユン 物や食物の配分にありつけなくなる。「遅れて来たのでオーディタ」 ['o:]ditaN [○o○。

- [’o:rijuN [OoO オーリユン 漬物等がよくつかる。味噌が時を経て食べ頃となる。
- [gaNnuje: [OoO ガンヌエー〔賀の祝〕米寿の祝。
- [kuNPajuN [OoO クンパユン 踏んばる。もちこたえる。
- [sja:gijuN [OoO シャーギユン 手で下げて持つ。
- [sju:tomai [OoO シュートマイ 永嶺【ナガミネ】字に伝わる歌舞。和泊町指定無形文化財。
- [sjo:sjimuN [OoO ショーシムン 茹でた野菜類にあぶり魚を細かくちぎったもの等を加えて味をよくし、酢味噌をかけて食べるようにしたもの。
- [zja:wudui [OoO ジャーウッドウイ 蛇踊り。
- [zjiNdajuN [OoO ジンダユン だらだらする。でれでれする。着物の帯などがだらしなく垂れさがる。
- [so:rijuN [OoO ソーリユン 植物がしおれる。
- [Tattagwa: [OoO タッタ / グワー 双生児。
- [taNgejuN [OoO タングユン 当てにする。頼りにする。
- [niNzjime: [OoO ニンジ / メー 握り飯。丸いのが普通。
- [nuNgicju: [OoO ヌンギ / チュー こわい人。
- [nuNgimuN [OoO ヌンギ / ムン 妖怪。おそろべき人物。
- [hji:jacjuN [OoO ヒーヤチュン 皮膚がひりひりする。
- [hjicejicjuN [OoO ヒッチチュン 引っつく。くっつく。
- [hju:gajuN [OoO ヒューガユン 広がる。
- [hju:gijuN [OoO ヒューギユン 広げる。散らかす。
- [FuirasjuN [OoO フイラシュン 越えさせる。運んで移す。
- [bukkumiN [OoO ブックミン 物を区別せず一緒くたにする。
- [ho:josjuN [OoO ホーヨシュン 物の分配などの際、皆にゆきわたるようにする。
- [ho:racjuN [OoO ホーラチュン 乾く。
- [Ma:rigoi [OoO マーリ / ゴイ 生まれ甲斐【生まれた甲斐がある】。
- [Ma:rigoi [OoO マーリゴイ 思い甲斐。思いやりのし甲斐【がある】。
- [Ma:rije: [OoO マーリ / エ 出産祝。
- [Ma:rijuN [OoO マーリユン 生まれる。o 稲その他の穀物がよく稔る。o 焼酎や砂糖がよくできる。
- [mi:cjigwa: [OoO ミーチ / グワー 三歳児。o 幼児のようだの意味で「ミーチグワーのようだ」。
- [ju:haraN [OoO ユーハラン ? 大したことはない。o はりあいがない。o やりがいがない。o つまらない。

[ji:nusju: [OoO キーヌシュー ゆいのお返し。転じて o 贈物のお返しにもいう。

<m>[MeN]sjojuN [O]oO メンショユン モーユン (いらっしゃる。おっしゃる) のもっと丁寧で上品な言い方。

[to:]nu[Cju:[[O]o[O[トーヌチュ [唐の人・唐人] 頭が悪い者、気がきかない者という意味の罵語。

[hju:]nu[’ju:[[O]o[O[ヒューヌイユ (魚) しいら。沖合いで釣る。【確認査では [hju:]nu[’ju[: [】

[Ti:]cjjja:[[O]o[[O[ティーチ/ヤー [一つ家] 一棟に客間も台所もある簡素な家【そのものをさす】。客間と台所は別棟が普通。

[Cjukke]To[i [Oo][[O[チュッケ/トイ 一、二回。【確認調査では [Cjuke]To[i [oo][[O]】

[’a:]riju[N [O]o[[O[アーリユン 割れる。離れる。離婚する。

[’ai]zjicju[N [O]o[[O[アイヂチュン 愛情がつく。

[ka:]zjiju[N [O]o[[O[カージユン 掻く。掻き集める。【リングなどを】嘔じる。

[ga:]numu[N [O]o[[O[ガーヌムン あいつ。なにくそ。【独り言で。】

[ko:]riju[N [O]o[[O[コーリユン 焦げる。

[go:]hjimu[N [O]o[[O[ゴーヒムン 強欲。強欲者。

[sji:]zjasju[N [O]o[[O[シー/ジャシュン o しでかす【やらかす】。o 御馳走を出す。

[so:]zjiju[N [O]o[[O[ソージユン 相談する。品物を探し求める。o 縁談について女側と話し合う。

[taN]kiju[N [O]o[[O[タンキユン 大事にそっとあつかう。「手術後だからからだをタンキなければいけない」。

[Cja:]miju[N [O]o[[O[チャーミユン つんのめる。

[CjiN]sacju[N [O]o[[O[チン/サチュン つまみ裂く。

[Cja:]miju[N [O]o[[O[ツァーミユン 前のめりになる。うつ伏せに倒れる。

[ti:]rasju[N [O]o[[O[テーラシュン 人をからかう。

[to:]riju[N [O]o[[O[トーリユン 【横に木や人が】倒れる。破産する。【病に倒れるも。】

[tui]mucju[N [O]o[[O[トウイムチュン [取り持つ]接待する。歓待する。ちやほやする。

[hji:]sawu[i [O]o[[O[ヒーサウウイ 寒い季節。

[hji:]numu[N [O]o[[O ヒーヌムン [木のもの] 木の精としての妖怪。ヒーヌムンはよくあこうの木に棲むと言われる。

[hjiN]zjimu[N [O]o[[O ヒンジ / ムン [逃げ者] 悪事をなしたため人目をばばかっている者。

[hjiN]zjasju[N [O]o[[O ヒンジャシュン 逃がす。

[hjiN]zjiju[N [O]o[[O ヒンジユン 逃げる。

[FaN]tiju[N [O]o[[O フウンティユン 落ちる。

[FaN]tusju[N [O]o[[O フウントウシュン 主に戸外で失うこと。

[FaN]tusju[N [O]o[[O フウントウシュン 落とす。紛失する。

[maN]guju[N [O]o[[O マングユン 髪などがカールする【自然に】。

[maN]geju[N [O]o[[O マングユン 倒れる。ひっくりがえる [ママ]。

[Mi:]zjasju[N [O]o[[O ミー / ジャシュン 思い出す。

[muN]gata[i [O]o[[O ムンガタイ 物語。

[muN]dara[N [O]o[[O ムンダラン ものの役に立たない。

[me:]cjibu[i [O]o[[O メー / チブイ 着物の前の両裾を帯にはさんでまくしあげること。

[ja:]guma[i [O]o[[O ヤーグマイ 病気・謹慎等により家にこもる。

[jo:]sja'u[i [O]o[[O ヨーシャ / ウイ 飢饉年。凶年。

[jo:]sjami[:[[O]o[[O ヨーシャ / ミー ひもじい思い。

[ji:]kazji[N [O]o[[O キーカジン [いい加減] 言動が目にあまるとき「キーカジンだぞ」と叱る。

[ho:rasja]N [OoO]] ホーラシャン 嬉しい。喜ばしい。「誇らし」の転か。

[hjiN]ma[sja]N [O]o[O]] ヒンマシャン o 奇篤なことだ。o 気が利いて親切だ。たまにしかない珍しいこと。「あの人はヒンマシヤヌ人」。

[Ma:]gi[sa]N [O]o[O]] マーギサン (人間・家畜・作物等が) 大きい。

[Mi:]cja[sa]N [O]o[O]] ミー / チャーサン [思い痛い] 心もとない。気にかかる。

[mi:]bu[sja]N (OK) [O]o[O]] ミブシャン 見たいの意。

[ʼa:makka [OOo アー / マッカ [赤真赤] 赤を強調した語。

[ʼo:sjiNda [OOo オーシンダ 熟せず青い果実。

[Kwa:bi:cji [OOo クワー / ビーチ 子びいき。

[Cju:taNge [OOo チュー / タンゲ 人頼り。人だのみ。

[Cju:wa:sji [〇〇o チュー / ワーシ えこひいき。

[tui'o:sji [〇〇o トウイ / オーシ 〔鶏合わせ〕 闘鶏。(古)「とりあはせ」。

[to:'o:sa [〇〇o トー / オーサ (植) 〔原あおさ〕 すいぜんじも。野原に自生する地苔類の一種。救荒植物としてにらやねぎ等と一緒に油で炒めて食べる。【普段は食べない。海にもある。】

[na:biNku [〇〇o ナービン / ク 鋳掛屋。沖縄から来島した。「ナービン / クーキ」と呼ばわりながら、ふいごをかついで村々を回り、木陰などで鍋釜の修理をした。

[mi:sjo:ro [〇〇o ミーショール 初盆。墓所に灯籠を吊して遅くまで詰めて霊を慰める。

[nu:]sjuNdi [〇]〇o ヌー / シュンディ 〔何するとて〕 あのと কিনぜ。自分のしたことを後悔する意を表わす。「あのと き私はヌーシュンディあんなことを言ったのだろう」。

[MeN]sjo:ri [〇]〇o メンショール いらっしやい。

[ju:]tui[ja [〇]〇[o イュー / トウヤ 釣り好きな人。漁師。

['o:]du:[sji [〇]〇[o オードウーシ あわ粥、あわ雑炊。

[gat]toN[cja [〇]〇[o(f), gat[toN]cja 〇[〇]o(m) ガットンチャ たったそれだけ (の距離)。「ガットンチャ歩いたくらいで疲れるものか」。

[ki:]gi:[tu [〇]〇[o キーギートウ 黄色がかったさま。

[kui]gui[tu [〇]〇[o クイグイトウ 濃いかげんに。【お茶やコーヒーなどを〜いれる。】

[sji:]zji:[tu [〇]〇[o シージートウ 【酢の物を作るときに】 酢っぱいかげんに。

[sja:]zja:[tu [〇]〇[o シャージャートウ 白々と、夜の明けゆくさま。

[sju:]bit[ta [〇]〇[o シュー / ビッタ からだの白いこと。【色白の人も。特に価値評価はなし。[sju:]bittaKo[i [〇]〇o[[〇]とも。[sju:]bittaKoi[nu_[cju: とも。】

[sjo:]zjo:[tu [〇]〇[o ショージョートウ 正直そうなさま。「ありもしないことをショージョートウして話した」。

[sjiN]zjiN[tu [〇]〇[o シンジントウ しみじみと。

[sjiN]daN[gi [〇]〇[o シンダンギ (植) せんだん。屋敷に植えて防風や木陰として役立つ。蟬がよく止まる。

[so:]zo:[tu [〇]〇[o ソーゾートウ 清潔なさま。さっぱりしたさま。

[daN]daN[na [〇]〇[o ダンダンナ 色々 (普通とは違ったもの)。「世の中にはダンダンな人がいるものだ」。

[Cju:]zju:[tu [〇]〇[o チューヂュートウ 強そうなさま。重めに (例えば一斤の魚を買う際、店の人がそれよりも重い分量を一斤分として渡してくれたらチューヂューと量ったことになる)。

[cjiN]Tai[gu [O]O[o チンタイグ かたつむり。かつて女の子は六、七歳になると髪を頭のでっぺんで巻いて竹串を差す風習があり、これをチンタイグといった。

[ti:]'o:[sja [O]O[o ティー / オーシャ [掌合わせ] 二人向きあって歌をうたいながら一定の順によって掌と掌を叩き合わせる遊び。

[ti:]go:[sji [O]O[o ティー / ゴーシ 手先が不器用なこと。またはそういう人。

[tiN]diN[tu [O]O[o ティンディントウ 【子供が】 ちょこんと澄まして座っているさま。「恬然」の転か。

[to:]ke:[zja [O]O[o トーケージャ たこを穴から引き出すための【針金状の】道具。

[to:]ma:[mi [O]O[o トー / マーミー [唐豆] そら豆。

[du:]kaN[ge [O]O[o ドゥー / カング [自分考え] 独断。

[tu:]du:[tu [O]O[o トウドウトウ ぐっすり熟睡しているさま。

[du:]naN[gi [O]O[o ドゥー / ナンギ 自ら招いた難儀。

[doN]do:[tu [O]O[o ドンドントウ 気が利かず動作の鈍いさま。

[na:]niN[za [O]O[o ナーニンザ あいつ【悪口で】。古語「なれ」の転か。

[hja:]bja:[tu [O]O[o ヒャービャートウ 低いめに。

[hju:]bju:[tu [O]O[o ヒュービュートウ 広々と。

[Fu:]zja:[zja [O]O[o フー / ジャージャ [大祖父] 曾祖父。

[Fa:]gwa:[tu [O]O[o フワグフワートウ 固く。固めに。丈夫に。

[he:]be:[tu [O]O[o ヘーベートウ 早々と。

[ho:]go:[tu [O]O[o ホーゴートウ 乾いて清潔なさま。

[bo:]to:[sji [O]O[o ボー / トーシ 【運動会での】 棒倒し。

[mi:]kuk[ku [O]O[o ミー / クック 目やに等で目が開けられない状態【埃などが原因にあらず】。

[mi:]cjiN[ke [O]O[o ミーチンケ 目ばちこ。ものもらい。

[jo:]ta:[zja [O]O[o ヨータージャ ゆっくり。そっと。黙って。

[koNpeito: [OOO コンペイトー 金平糖。

[zjiNdaimuN [OOO ジンダイムン だらだらしてしまりのない者。服装のだらしない者。

[Cju:ho:jo: [OOO チュー / ホーヨー [人同様] 人並み。

[Fu]ke:sjuN [OOO フイケーション 病状が再び悪化する。

[Fuino:juN [OOO フイノーユン 病状が思いがけずよくなる。

[ui]ke:sju[N [O]O[[O ウイケーション 植えかえる。移植する。

[ta:]cjaigo[i [○]○[[○ ターチャイ / ゴイ 田打鋏。木部の先だけに刃を付ける。長いので使うときは横からもっていく。

[cjiN]Taiju[i [○]○[[○ チンタイユイ かたつむり。

[tja:]maiCju[:[[○]○[[○ ティー / アマイチュー[手余り]からだの大きな者。【図体、力もある。そういう人をいう。】

[maN]de:mu[N [○]○[[○ マンデームン 万代物。丈夫で長持ちする物。

[Mi:]ke:sju[N [○]○[[○ ミー / ケーシュン 思いかえす。考えなおす。

[ja:]waigwa[:[[○]○[[○ ヤーワイ / グワー[家分け子]分家した子。分家すべき子。